（永正四年カ）
卯月廿三日　　義興（花押）

（家氏）
乃美備前守殿

（折封ウハ書）
「乃美備前守殿　　義興」

乃美賢勝ノ船岡山ノ戰功

六　大内義興感狀（切紙）

就今度上洛之、數年別而奉公之上、至丹波令供奉之、剩去月廿四日、於船岡山御敵退治之時、馳走、感悅令重疊了、彌抽忠節者、可爲肝要之狀如件、

永正八年九月十三日　（義興）（花押）

（賢勝）
乃美小太郎殿

（折封ウハ書）
「乃美小太郎殿　　義興」

（端裏押紙）
天文五年頭崎御陣之時

七　大内義隆書狀（切紙）

家氏ノ安藝頭崎出陣ヲ勞フ

（安藝頭崎）
其面在陣之由候、辛勞令察候、（小早川）興景別而入魂之由、（弘中）隆兼注進到來候、早々落去之儀可悅入候、併國中靜謐之基候、猶隆兼可申候也、恐々謹言、

十一月卅日　（大内）義隆

（家氏）
乃美備前守殿

（折封ウハ書）
「乃美備前守殿　　義隆」

賢勝ノ在城ヲ勞フ

八　大内義隆書狀（切紙）

（端裏切封）
「　」

去年四月以來在城、辛勞令察候、當時其境無心元之間、不可有油斷候也、謹言、

（天文十五年）
十二月廿二日　義隆（花押）（太下同ジ）

○コノ花押ハ〔小早川家文書 椋梨家什書ニ〕第一二〇號文書ニアルモノニ同ジ、

乃美小大郎殿

（折封ウハ書）
「乃美小大郎殿　　義隆」

九

陶隆房 晴賢 感状（切紙）

（押紙）
乃美備前守
天文廿年

（端裏切封）
「　　」

（證判）（大内晴英義長）
「一見畢（花押）」

大内晴英證判
賢勝父子ノ籠城ヲ褒ス

就今度其表取相、至當御城父子早速被馳籠之由候、尤神妙感悦之至候　御人躰於御上國者、可達　上聞候、彌御忠儀干要候、恐々謹言、

（晴英）
九月廿三日　　隆房（花押）

（賢勝）
乃美刑部丞殿

（折封ウハ書）
「　　陶
　　隆房」

（押紙）
乃美備前守
天文廿年

一〇

陶隆房 晴賢 感状（切紙）

（端裏切封）
「　　」

（證判）（晴英義長）
「一見畢（花押）」

大内晴英證判
賢勝ノ明神山切岸ノ戰功

（安藝西條）
於去十一日明神山切岸、粉骨之次第、尤感悦之至候、　御人躰於御上國者、可達　上聞候、彌御馳走肝要候、恐々謹言、

（晴英）
九月廿三日　　隆房（花押）

（賢勝）
乃美刑部丞殿

（折封ウハ書）
「　　陶
　　隆房」

（押紙）
乃美備前守

一一

乃美賢勝軍忠状（切紙）

大内義長證判

石見吉見正頼要害攻撃以来ノ軍忠

長門賀年要害落居

石見津和野三本松固屋口

野坂

（證判）

「一見畢（義長）（花押）」

乃美備前守賢勝謹而言上

欲早賜　御證判備後代龜鑑軍忠之事

右去年天文廿貳至石州、吉見大藏少輔正賴要害御取懸以來、分捕并被疵次第備左、

賢勝去三月三日、長州賀年要害落去之時、討捕頸一楊井若狹守、同矢疵壹ヶ所左脚、去八月二日於津（石見）和野三本松固屋口、矢疵壹ヶ所左ノ脚、郎從世良源左衞門尉、去年十一月十三日、於野坂矢疵左ノ口、同去七月三日、於三本松喜計口矢疵左ノ足、郎從豊嶋源五郎、去三月三日、於賀年城切疵左手甲、僕從孫衞門、去三月三日、於賀年礫疵壹ヶ所右眉、

以上

乃美賢勝軍忠状

原寸　縦〇・米一六七　横〇・五三五

乃美賢勝軍忠状

原寸

東京寫眞印刷社製版

天文廿三年九月廿日　　賢勝(花押)

陶尾(晴賢)張守殿

一二　大内義長下文

(大内義長)(花押)

下　乃美備前守賢勝

可令早領知安藝國賀茂郡東西条仁賀田村貳拾貫八百文余(糸永加賀守先知行)同郡福本内六貫八百文足三永内參貫文足(勝屋衆跡)等事

右以人、所充行也者、守先例、可全領知之狀如件、

天文廿三年十月廿三日

一三　杉興宣奉書(切紙)

今度御上洛已來、數年別而奉公之上、至丹波被遂供奉、剩去月廿四日、於舩

安藝國賀茂郡東西条仁賀田村並同郡福本三永内知行賢勝ニ充行フ

賢勝ノ船岡山ノ戰功

岡山、御歆御對治之時、馳走之御感狀、尤以目出候、彌被抽奉公忠者、可爲肝要之由候、恐々謹言、

永正八
九月十三日　興宣（花押）

（賢勝）
乃美小太郎殿

（折封ウハ書）
「　　杉越前守
乃美小太郎殿　興宣」

神邊杉原豐後守

一四　大内氏老臣連署奉書（切紙）

（端裏切封）
「　　」

就神邊（備後）椙原豐後守（理興）同意之儀、當城無油斷由、注進之通、令披露候、辛勞之由、被成御書候、誠御面目之至候、彌馳走可爲干要之由候、猶隆兼可被申候、恐々謹言、

十二月廿二日　（吉見）興滋（花押）

（青景）隆著（花押）

（陶）隆滿（花押）

乃美小太郎殿

（折封ウハ書）
「（異筆）到天文十五年十二月廿二日」

連署

乃美小太郎殿　興滋」

賢勝ノ在城

一五　弘中隆兼添狀（切紙）

（端裏切封）
「　　」

就長々在城之儀、被成御書候、尤御面目之儀候、彌可有馳走事干要候、恐々謹言、

（天文十六年カ）
正月十五日　隆兼（花押）

乃美小太郎殿（陣）
御陳所

（折封ウハ書）
「　　弘中三川守
乃美小太郎殿　御陣所　　隆兼」

一六　大内氏老臣連署奉書（切紙）
（端裏切封）
「｜｜」

家氏ノ九州ニ於ケル戰功

就九州之儀、去年以來、於杉小次郎（興宣）一所被遂在陣、每篇馳走、殊陣取或動等之儀、悉皆被加指南候之通、以杉木工助、巨細興宣言上候、尤肝要候、彌無由斷相談、可爲專一候、此等之旨、得其心、能々可申之由候、恐々謹言、

（永正四年カ）
五月廿三日　　道輔（花押）
（家氏）
乃美備前守殿　　武長（花押）
（折封ウハ書）
「　　弘中兵部丞
龍崎中務丞

乃美備前守殿　　武長」

一七　杉弘相書狀（切紙）
（端裏切封）
「｜｜」

混元丹

重而申候、混元丹一貝進之候、委事懇ニ宮内兵庫助申候、さても〳〵御高名難盡筆候、恐々謹言、

七月廿七日　　弘相（花押）
乃美備前守殿
御陣所
（折封ウハ書）
「　　杉二郎左衞門尉
乃美備前守殿　　弘相
御陣所　　」

賢勝ノ軍忠狀

一八　陶晴賢書狀（切紙）

（端裏切封）「｜｜」

旁忠儀之次第、達上聞、軍忠狀被成　御判候、尤御面目之至候、彌可被抽戰功事肝要候、恐々謹言、

（天文廿三年）十一月十八日　晴賢（花押）

乃美備前守殿　陶

（折封ウハ書）「乃美備前守殿　晴賢」

歲暮ノ祝儀

〔浦家文書　毛利家御書〕

一九　毛利元就書狀

爲歲暮之儀、御狀御使、祝着候、年內無余日候之間、明春寂前祝儀可申述候、仍從万壽殿（乃美元信）、樒柑二目籠、鰹具三目籠送給候、祝着千万候、一段遂賞翫候、猶御使者申候間、閣筆候、恐々謹言、

十二月廿四日　元就（花押）

乃美兵部丞殿（宗勝）　御返報

（禮紙切封）「｜｜」

（折封ウハ書）「乃美兵部丞殿　御返報　右馬頭　元就」

二〇　毛利元就書狀（切紙）

（端裏切封）
「　　」

尙々、太刀一腰、給表一端淺黃進入候、表御上之御祝儀計候、

今度關表御下候、殊永々御逗留、御辛勞誠申も疎候、御上候者、此等之趣早々可申入候之處、遲々、心外候、只今隆元（毛利）以使者申入候之間、同令啓候、吳々今度御馳走、難申盡候、猶粟屋縫殿（元通）允可申候、恐々謹言、

（永祿五年カ）
五月廿五日　　元就（花押）

乃美兵部丞殿
御宿所

乃美宗勝ノ關表ノ逗留ヲ勞フ

二一　毛利元就書狀（切紙）

（端裏切封）
「　　」

御狀到來、拜見候、來嶋ゟ有御出、上關城衆以下被仰調之由候、誠肝要候、御

宗勝ノ來島出張

辛勞更以無申計候、仍此条態可申候處、御飛脚到來、所希候、銀山尼子陣之事、此方爲後卷罷出候事、其聞候而、浮立候、然砌、佐波ニ置候此方人數、佐波衆申談、中途之山へ打上、成行候處、則時退散候、山吹衆敵數輩討捕由候、左候間、三久須、矢筈、三ツ子已下敵城、悉退散之由候、昨日佐波衆此方之衆、至池田相動、則時切取候、其儘大田ゟ相動之由候、定而大田之事歟可事行候歟、此時雲州口仕懸候者、彼國西境者、雖可任存分候、防州への儀、可指急候之条、不及莵角候、小笠原之儀者、急度可仕詰趣候者、仕詰候而、明隙可罷下候、若又少歟可相支趣ニ候者、先指捨、各防州口可被下候、尼子方被取出候而、存之外此口頓明隙候、御味方中厚運之至候、猶又自是可申候、恐々謹言、

（弘治二年）
八月九日　　元就（花押）

乃美兵部丞殿
御返報

銀山ノ尼子陣

三久須矢筈三ツ子諸城ノ退散毛利勢池田ヲ收メ大田ヲ攻ム

元就防州口ノ計略ヲ急ゲ

備前衆備後ニ出ツ

雲州表歸陣

宗勝ノ隆景供奉

二二　毛利元就書狀（折紙）

尙々、孫兵衞尉、可然折節罷上候者、一入（ママ）案堵候、何と樣ふも、二郎左衞門申談、可然樣ニ短息干要候〳〵、

至其境目、備前衆罷出付而、注進到來候、委細承知候、備後衆所へ頓申遣候之条、定而可參着候〳〵、野州元資小田以下事も、可爲同前候、於此方少も無緩儀候、可心安候、其表之儀、短息此時候、何と樣ふも心遣肝要候、雲州表事、急度歸陣ニ相定候間、是又可心安候、此段能々久式へも可申候、歟行趣、追々可申越候〳〵、吉事左右待入候、謹言、

八月廿四日　　元就（花押）

二三　毛利元就同隆元連署狀（切紙）

就動之儀、隆景可被思食之由、申入候、於御出者、乍御辛勞、御方（ママ）御供可爲祝着候、每事以面上可申承候、猶粟屋縫殿允可申候、恐々謹言、

七月十七日　　隆元（花押）

乃美兵部丞殿　　元就（花押）

御宿所

伊豫表ノ狀況

二四　毛利輝元書狀（切紙）（端裏切封）

爲歲暮之儀、太刀一腰、百疋給候、祝着之至候、仍て州表之儀ニ今無一途之儀候哉、此表在陣中、御故實肝要候、於旨儀者、每事隆景可被仰達之条、可被得御心事專用候、恐々謹言、

十二月廿六日　　輝元（花押）

乃美兵部丞殿　御返事

二五　毛利輝元書狀（切紙）

（端裏切封）「ー ト」

隆元室ノ所勞

（隆元室内藤氏）就尾崎所勞之、態示預候、御懇意、祝着之至候、一兩日少快氣候、彌養性無油斷候之条、可被得減候、猶重而可申述候、恐々謹言、

（元龜三年カ）八月十日　輝元（花押1）

（元信）乃美少輔四郎殿　御返事

二六　吉川元長書狀（折紙）

八橋ノ不慮ニツキ元長ノ出張

御方手前之儀ニ付而、重疊承之通、承知候、當時之儀、（因幡）八橋不慮ニ付而、近日令出張候、餘取亂之条、具ニ難申候、何ゟ重而可申談候、恐々謹言、

（天正七年カ）十月九日　治部少輔（吉川）元長

吉田衆保懸衆

二七　穗田（毛利）元清書狀

吉田衆之内保懸衆三人、幷佐東吉原、唯今罷着候人數荷物之注文進上候、爲御心得候、恐惶[illegible]、

三月十四日　（穗田）元清（花押）

（捻封ウハ書）「　　四郎（元清）□□」

〔浦家文書　小早川隆景公御書〕

二八　小早川德壽丸隆景書狀（切紙）

（端裏切封）「ー ー ー」

吳々、長々御辛勞ニて候、又小座敷出來候て、祝着候、早々御上待申候、其許居候者、皆々辛勞由、可被仰聞候、

幾度申候ても、其面長々御逗留、御辛勞之儀候、与（井上有景）三左衞門尉所へ御狀、具披見候、去月廿八日歸城候、宗勝（乃美）于今在城候之間、可御心安候、早々被明隙、上國待申候、猶委細從岡所可申候、恐々謹言、

宗勝ノ在城

十二月二日　德壽丸（隆景）

乃美備前入道殿（慶俊賢勝）

（折封ウハ書）「乃美備前入道殿　德壽丸」

二九　小早川隆景自筆書狀

今朝者風雨一入之故、不申談候、

曾禰惠良しらされ三ケ城破却

一曾禰（伊豫）、惠良しらされ三ケ所之儀者破却ニ相澄、道具以下當城へ可取越候、御思案之旨候者、可承候、

祖母谷瀧之城下須戒城ノ廢合

一祖母谷瀧之城、下須戒、是も一所相縮度候、何を拘何を可相捨候哉、思召所承、引合可致儀定候、

大津せり本尊興居島賀島來島小湊櫛邊壬生川諸城ノ處分

一當城大津（伊豫）（洲）、せり、本尊、興居嶋、賀嶋（鹿）、來嶋、小湊、櫛邊、壬生川、是も十ケ所之事ニ候、肝要之持所ニ相拘候へハ、あい〳〵の儀ハ、さのミ不入事候、第一領地ニ有間敷之条、持くさ〳〵候て、役ニ立間敷候、十ケ所も二万貫餘之儀ならてハ成間敷候、

普請配道後ノ奉行衆

一普請配ハ道後之奉行衆と、昨今以來申談、よきやと相調候、明後日、[illegible]日取ニて候間、可相始候、

西園寺家所持ノ城ト領地

一度々申候西薗寺（公廣）殿御拘之城、領地之やりかへ曾而不相聞、咲止之儀候、

菊間

宇喜多氏領分那波坂越邊ノ警固

多分久又左可相心得之条、被遂内談候て、公廣於御着者、則相をめ、時分之儀候之間、此節普請等被申付度事候、

一彼居事、彼地無合點候者、可爲無理遣候哉、今之分者、菊間(伊豫)も無落着、不可然躰候、彼是可申談之条、雨あかり、路次も如形候ハヽ、今夕明朝之間、可有御登城候、恐々謹言、

(天正十四年)三月五日　隆景(花押2)

(捻封ウハ書)「　　(宗勝)乃美ら　　隆景」

三〇　小早川隆景自筆書狀

条々承通、得其心候、安國寺山新、今晩者能程可爲下着候、

一直家(宇喜多)領分那波(播磨)坂越邊警固馳走、冨平上之儀者、直家分別さに、以前之辻不相違、請付まて候ハヽ、いつまの条も可相調候、自然又彌疑心共候て、

淵本ノ兵粮

木梨古志兩氏ノ和談

下口警固

ゑり〳〵無分別候ハヽ、なふ事を成間敷候、是ハ今晩可相聞候、

一小林衆杭大夫、今晩爰許可爲上候、淵本兵粮之儀者、相調候、纔之無足分等者、杭太、井又右談合させ候て可相澄候、

一村彈今日出舟、彌令催促候、油斷有間敷候、

一野州乘舟之事、未明より神形(刑)談合させ候て、塩飽申上を、可相調との申事ふ候、

一木梨古志事、ひらまとも有間敷候、涯分申拵候而可見候、成就候とも、ちと遲候ハんと可被思召候、

一下口警固之儀付而者、今朝未明ニ、兒藏所(兒玉就英)へ早飛脚下候、今晩舟まて又一人差遣候而、催促之覺悟ふ候間、如承候、兒周所へ、上口之あちをも可申下候、夜前從伊多岐到來之趣者、杉衆ゑと、きま〳〵と可被出事ハ、難有之聞え候、兒周者、涯分可催促由、一昨日之飛脚ふも申上を候条、彌可申下候、大辻計まてハ、一向調間敷候、

下津井

一舟誘等爲可被申付、今晩下津井（備前）迄、可有御上哉之由、無余儀候、乍去、今日中ハ、萬々申談候ハてハと存候、何も御登城候て、其段をハ可有御議定候、恐々しゝ、

二月廿三日（元龜四年カ）　隆景（花押2）

「（禮紙切封ウハ書）　乃兵（宗勝）らる　隆景」

城番撰定ノ内談

三一　小早川隆景自筆書狀

吳其表城番之儀、誰々可然候ハん哉、先々内談申候御思案之旨承候而、可得其心候、雖難申分候、此者口上ニ申候、恐々謹言、

八月七日　隆景（花押2）

「（切封ウハ書）　兵（宗勝）らる　又四　隆景」

退衆

三二　小早川隆景自筆書狀

彼方之趣、退衆ニ御尋候哉、樣躰承度候〳〵、しゝ、

「（捻封ウハ書）　兵らる　四　（隆景）景」

嚴島へ大船板ノ送付

三三　小早川隆景自筆書狀

大船板之儀、自尾道被指下之条、至嚴嶋被送付候者、可爲祝着候、一入とものはき急之由候、委細者白縫へ申候、恐々謹言、

二月廿七日　隆景（花押2）

「（捻封ウハ書）　乃兵　乃少四（元信）らる　隆景」

三四　小早川隆景自筆書狀

（端裏切封）

警固衆

従木谷内刑罷歸候、各警固衆之事、令馳走、其元之舟可乘下之由、申越候之
条、舩道具幷舟付等之事、堅固ニ被仰付候者、可爲祝着候、依無原豐對談、明
日可有御越之由候之間、少輔二郎留守之事候ハヽ、能々可被仰置候、爲其
態申候、恐々謹言、

舩道具幷舟付ノ用意

正月十四日　　隆景（花押2）

兵部丞（宗勝）殿

三五　小早川隆景書狀

門司へ警固發遣

（門）務司へ警固之儀付而、中与三兵差渡候、從某元も新十四郎兵間一人御渡
候て、能々可被仰談候、尚任口上候、恐々謹言、

三月十三日　　隆景（花押2）

三六　小早川隆景自筆書狀

（捻封ウハ書）

隆景宗勝ヲ招ク

彼是可申談候、早々可有御渡候、待申候〳〵、恐々謹言、

霜月廿七日　　隆景（花押2）

兵部丞殿

三七　小早川隆景自筆書狀

（捻封ウハ書）

石原方ノ門田替

先狀ニ申候樣ニ、石原方之事、門田替ニ差渡候、送舟之儀、御才覺候て可給
候、あらと賴申候〳〵、門田事、俄日數をきり、差渡申候間、無御油斷裁判
賴申候〳〵、恐々謹言、

十二月十一日　　隆景（花押2）

（捻封ウハ書）「　　乃兵らる　　隆景」

宗勝ノ吉田上來

兒玉就忠ノ所勞

三八　小早川隆景自筆書狀

明日吉田可有御上之由、得其心候、中右事ゑ、明後日可罷下由之申候哉、尤可然候、書狀等彼是相調、明日可差遣候、仍兒（兒玉就忠）三右所勞、夜前も左右候、相定候、無是非迄候、猶從岡ゟ所可申候、恐々謹言、

（永祿五年）卯月廿五日　　隆景（花押[2]）

兵部丞殿らる

（禮紙切封ウハ書）「　　兵部丞殿らる　　隆景」

三九　小早川隆景自筆書狀

濱陣床

普請

御捻披見候、

一濱陣床之事、承之候、尤候、後刻二三人差下可申候間、被見合候て可給候、

一普請之儀、其事ニ候、少も差急度候、當國衆への配、垣肥出筑ゟと、今朝ゟ申談半候、彼隙不明故、井又右（井上春忠）已下、唯今濱へ遣候事延引候、各一圓無調法ニ聞候間、石ゟとよせ候事、存之外もり行間敷候

一久之村之事、御分別有間敷ニ相聞候へハ、無申事候、惣別彼堺之持口、何と被相定候哉、此覺悟をハ、自大坂下向被待懸之、松葉ゟこそ可被差急事候、久又被越候ても、一廉之被申樣不聞候哉、彌其段彼仁御尋候て可給候、肝心之儀候、尙御登城之時可申候、恐々謹言

（天正十四年カ）三月四日　　隆景（花押[2]）

（禮紙捻封ウハ書）「　　乃兵らる　　隆景」

隆景元春
福原貞俊
兒玉就方
ノ豐島參
會

下口警固
ノ人數

四〇　小早川隆景書狀

兩種送給候、則令賞翫候、可有御察候、將又、彼兩所へ頓被仰渡之由、得其心候、可被差急事肝要候、恐々謹言、

正月七日　隆景(花押[2])

(捻封ウハ書)「　乃兵らる　隆景」

四一　小早川隆景自筆書狀(折紙)

猶々、來嶋衆、務司其外ゟ州衆へ之催肝心迄候〳〵、何とやうにも可有御才覺候〳〵、

今朝坂を罷立候處、元春、貞俊(福原)幷兒周(兒玉就方)以下、爲相談、豐嶋(安藝)迄被罷出候間、於彼方令參會候、重淸廿日も可相堪之由、彼帋面相見之条、此時者、肝心之一行候之間、下口警固之人數等、一廉出候樣、被申付候ハて者ニて候間、彼是以各之分別、兒周藏太以下之合點入事候間、歸城一日ゟ延引之樣候へ共、今日者、彼方罷越候、明日者、ひるゟとゝ可爲歸宅候、不可有油斷候、恐々謹言、

(永祿十一年)二月十五日　隆景(花押[2])

乃兵らる

隆景元春
宍戸隆家
等ノ伊豫
渡海

四二　小早川隆景自筆書狀(折紙)

一筆申候、昨日出舩之覺悟候處、元春隆家(宍戸)吉田衆延引之条、於當津相待候、明後日五日可爲着津之由、被申越候之間、令同道、軈而可渡海候、其表之趣、神田ニ承之通、委細得其心候、万端以面可申談候、恐々謹言、

(永祿十一年)三月三日　隆景(花押[2])

乃兵らる

宗勝ノ伊豫元吉城ノ戰功

四三　小早川隆景感狀（折紙）

去廿日、至元吉（伊豫）惣國之衆取詰之處、則時被懸付、歟雖爲大軍、被居覺悟、仕懸、無左右切崩、數百人被討果候、他國渡海之儀候条、無心元候處、存之外之太利、祝着此事候、御方調儀御短束之段、具淨念申候、乍勿論、太慶候、何卒追而可申候、彌國中之儀、被見合、追々可有注進候、當家來之者共、粉骨之段、相心得可被申与候、重而銘々可加褒美候、恐々謹言、

（天正五年）壬七月廿二日　　隆景（花押2）

乃美兵部丞殿

朝鮮信使ノ來朝ノ本唐勅使同船

上巳ノ祓儀

〔浦家文書　輝元公御書〕

四四　毛利宗瑞（輝元）書狀（折紙）

高麗人來朝付而、柳澤三左衞門尉指遣候、此度者、本唐勅使同舩之由候条、宿以下萬端之趣申含候間、談合物躰可然馳走肝要候、尙從是可申候、

（慶長十二年）正月廿六日　　（宗瑞）（花押3）

乃美孫兵衞尉（景繼）とのへ

四五　毛利宗瑞（輝元）書狀（折紙）

爲上巳之儀、百疋到來、祝着ニ候、猶慶事可申候、

（宗瑞）（花押3）

三月三日

乃兵部

四六　毛利宗瑞輝元書狀（折紙）

爲音信一桶到來、祝着候、猶重而可申聞候、[illegible]、

三月十六日　（宗瑞）（花押3）

乃兵部

八朔ノ祝儀

四七　毛利宗瑞輝元書狀

爲八朔之祝儀、百疋到來、祝着候、猶追而可申聞候、[illegible]、

八月二日　（宗瑞）（花押3）

乃兵部

蠣ノ贈答

四八　毛利宗瑞輝元書狀（折紙）

爲音信、蠣一桶到來、祝着候、猶重而可申聞候、[illegible]、

九月十六日　（宗瑞）（花押3）

乃兵部

四九　毛利宗瑞輝元書狀（折紙）

爲音信、樽肴到來、祝着候、猶追而可申聞候、[illegible]、

九月廿三日　（宗瑞）（花押3）

乃兵部

五〇　毛利宗瑞輝元書狀（折紙）

爲音信、兩種到來、祝着ニ候、隨而中解勘由下向之儀、未知之由承知候、到來候者可申越候、[illegible]、

正月廿九日　（宗瑞黑印）○以下第五七號文書ニ至ル宗瑞ノ黑印、皆之ニ同ジ、

乃兵部

上巳ノ祝儀　石昆布

五一　毛利宗瑞輝元書狀（折紙）

爲上巳之祝儀、百疋到來、祝着候、將又、音信と候て石昆布送越、毎事懇意之儀候　上下之衆珍敷樣子共候者、可申越候、しく、

三月八日〇（宗瑞黑印）

乃兵部

端午ノ祝儀

五二　毛利宗瑞輝元書狀（折紙）

爲端午之祝儀、百疋幷一種到來、令祝着候、毎事懇意之儀候、猶井伯耆所より可申候、しく、

五月一日〇（宗瑞黑印）

乃兵部

七夕ノ祝儀

五三　毛利宗瑞輝元書狀（折紙）

爲七夕之祝儀、百疋幷一種到來、祝着候、猶追而可申聞候、しく、

七月七日〇（宗瑞黑印）

乃兵部

八朔ノ祝儀　朝鮮官人ノ渡海

五四　毛利宗瑞輝元書狀（折紙）

爲八朔之祝儀、百疋幷兩種到來、祝着候、可令賞翫候、仍官人渡海之由、其地宿已下万事心遣之由、肝要候、しく、

（元和三年）八月一日〇（宗瑞黑印）

乃兵部

藥節ノ祝儀

五五　毛利宗瑞輝元書狀（折紙）

爲藥節之祝儀、百疋到來、祝着候、將又、蠣一桶差越候、爰許珍物、やゝて可

賞翫候、猶井孫左所より可申候、以上、

九月九日◯（宗瑞黒印）

乃兵部

輝元ノ下着

五六　毛利宗瑞輝元書狀（折紙）

下着爲祝儀、樽肴到來、令祝着候、其方氣分于今然々無之由、涯分療治肝要ニ候、以上、

九月廿四日◯（宗瑞黒印）

乃兵部

五七　毛利宗瑞輝元書狀（折紙）

爲音信、兩種到來、令祝着候、猶井孫左所より可申候、以上、

十一月卅日◯（宗瑞黒印）

乃兵部

〔浦家文書　綱廣公　吉廣公御書〕

毛利吉就誕生ノ祝儀

五八　毛利綱廣直書（折紙）

今度奥方平産之爲祝儀、太刀一腰馬一疋、以使者到來、（毛利吉就）元千代ゟも太刀馬
（毛利綱廣室松平氏）
代幷刀一腰差越、祝着之事候、爲此令申候也、
（寛文八年）　（毛利綱廣）
卯月二日　　（花押）

（就昌）
浦孫兵衞とのへ
（糊封ウハ書）
「浦孫兵衞とのへ　　メ　」

五九　毛利千之助（吉廣）書狀（折紙）

御飛札令拜見候、彌以無御別条候由、珍重存候、如來意、手前叓當地罷越、
氣色能在留申候、被懸御心緒、杳々預示、過分存候、書外以御面可申達候、

毛利家中所帶逼迫

恐惶謹言、

卯月三日　　（毛利吉廣）
（廣勝）　　毛千之助　（花押）
浦主計樣

六〇　毛利吉廣直書（折紙）

一筆申遣候、所帶逼迫難續付、儉約之儀、御老中得御内意、仕組申付、佐世
（廣久）
主殿へ申聞、差下候、我等も不自由令堪忍候条、家來も彌令儉約、遂馳走、諸
役番等遂其節候樣、組中へも能々申聞、其方共心遣肝要候也、
（吉廣）
六月廿一日　　（花押）

（糊封ウハ書）
「浦孫兵衞とのへ　　浦孫兵衞とのへ　　メ　」

〔浦家文書　吉元公御書〕

六一　毛利吉元直書（折紙）

今度元太郎儀、如願被仰出候爲祝儀、以使者、太刀馬代幷肴差越之、滿足之事候、猶重而可申候也、

十二月十九日（毛利吉元）

○以下第六四號文書ニ至ル吉元ノ花押、皆之ニ同ジ、

浦圖書（元敏）とのへ

（糊封ウハ書）「浦圖書とのへ」

六二　毛利吉元直書（折紙）

今度佐渡元服之爲祝儀、以使者、太刀馬代差越之、滿足之事候、猶重而可申

候也、

二月十五日（吉元）（花押）

浦圖書とのへ

（糊封ウハ書）「浦圖書とのへ」

六三　毛利吉元直書（折紙）

今度所帶仕組之儀、年寄共迄申越之趣ニ付、其方共内一人相越候ハヽ、委細可聞屆候、爲其申聞候也、

五月十二日（吉元）（花押）

浦圖書とのへ

桂三郎左衛門とのへ

（糊封ウハ書）「浦圖書とのへ

桂三郎左衛門とのへ

」

六四　毛利吉元直書（折紙）

今度大隅守殿ゟ之婚禮相調候爲祝儀、以使者、太刀馬代到來、且又餞差越之、祝着之事候、爲其令申候也、

四月廿八日（吉元）（花押）

浦圖書とのへ

（糊封ウハ書）「浦圖書とのへ

」

〔浦家文書〕

六五　毛利吉元直書（折紙）

先頃已來仕組之儀、重キ事故、段々遂僉議候、寂初より其方言上之趣尤ニ候条、彌其通申付候事候、千一對樣々之所存候共、差捨此上及延引候而者、爲不可然候、我等苦勞候事候、何とそ取分差押、早々登城候而、可有其沙汰候、以上、

九月三日　吉元

浦圖書とのへ

（糊封ウハ書）「浦圖書とのへ

封

」

〔浦家文書　宗元公御書〕

六六　毛利宗元直書（折紙）

今度元服之爲祝儀、以使者太刀馬代差越之、滿足之事候、猶重而可申候也、

二月十五日（毛利宗元）

浦　圖書とのへ

（糊封ウハ書）「浦圖書とのへ」

敬親任官ノ祝詞

六七　毛利敬親直書（折紙）

（糊封ウハ書）「

御書入

浦　靱負殿

（毛利元雄）（異筆）「毛筑前」

我等爲任官之祝詞、太刀馬代差越之、滿足之事候、爲其令申候也、

（弘化五年）二月十五日（毛利敬親）（花押）

浦　靱負とのへ

敬親左近衞權中將昇進ノ祝儀

六八　毛利敬親直書（折紙）

（糊封ウハ書）「

浦　靱負とのへ」

我等中將昇進之爲祝儀、太刀馬代差越之、滿足之事候、爲其令申候也、

（安政七年）二月十五日（敬親）（花押）

浦　靱負とのへ

六九　毛利敬親直書（折紙）

（糊封ウハ書）「　　浦　靱負とのへ」

一筆申遣候、其方事暫時京都相滯、諸事之用向心遣申付候、委細益田彈正ゟ可申聞候也、

五月朔日（敬親）（花押）

浦　靱負とのへ

浦靱負京都滯在ノ命

七〇　毛利敬親直書（折紙）

（糊封ウハ書）「　　浦　靱負とのへ」

一筆申遣候、其方事暫時京都相滯、諸事之用向心遣申付置候處、差除用事

靱負ニ京都ヨリ參府ヲ命ズ

有之ニ付、早々可有參府候、委細益田彈正可申聞候也、

五月廿三日（敬親）（花押）

浦　靱負とのへ

七一　毛利敬親直書（折紙）

（糊封ウハ書）「　　浦　靱負とのへ」

一筆申遣候、其方事是迄之仕成差除準大夫申付候、猶筑前より可申聞候也、

十二月七日（敬親）（花押）

浦　靱負とのへ

靱負ニ準大夫申付

七二　毛利敬親直書（折紙）

（糊封ウハ書）
「
浦　靱負とのへ」

敬親女於喜久婚禮ノ興役幷興送リ役

今度於喜久婚姻ニ付、其方事輿之役幷輿送り之役申付候条、可有所勤候、
委曲益田彈正ゟ可申聞候也、
十月十三日（敬親）（花押）

浦　靱負とのへ

浦滋之助ノ上關出張

七三　毛利敬親直書（折紙）

（糊封ウハ書）
「
浦　滋之助とのへ」

一筆申遣候、其方事上ノ關出張申付候、委細年寄共ゟ可申聞候也、
十一月十五日（敬親）（花押）

浦　滋之助とのへ

〔浦家文書寫〕

閥閱錄十一ノ一浦　圖書二冊之内

一　毛利元就書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書毛利家御書〕第二一〇號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

二　毛利元就同隆元連署狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書毛利家御書〕第二一三號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

三　毛利元就書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書毛利家御書〕第二一一號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

四　毛利元就書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書毛利家御書〕第二二號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

五　毛利輝元書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書毛利家御書〕第二四號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

六　穗田毛利元清書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書毛利家御書〕第二七號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

七　吉川元長書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書毛利家御書〕第二六號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

右七通御本書所持仕候、

八　毛利元就感狀寫

急度申入候、去十日、敵諸勢出候處、於明神尾（公藝西條）被仕崩、被合戰、敵被討捕候、御方一番ニ御太刀御高名之段、從各所注進候、雖不珍敷候、今度之儀、敵多勢ヨ被取向、如是之御動、誠心地よき次第候、更不能申候、雖被被疵候、無御煩由候、第一令安堵候、猶以使者可申候之条、先閣筆候、

（天文廿年）拾月十六日　　右馬頭元就

乃美兵部丞殿
御陣所

九　毛利元就知行充行狀寫

去十月十日、豐州於門司濱豐後國住人伊美彈正左衞門と鑓被合、鼻之左脇蒙生疵、剩彈正左衞門討捕、無比類働不可勝計候、相生白松兩所充行、全可知行者也、

乃美宗勝ノ明神尾ノ戰功

門司戰功ノ恩賞

永祿四年十一月二日　　元就御判

乃美兵部丞殿

右貳通為所持仕候處、曾祖父備前元種与上之關住宅之時分燒失仕候、寫御座候付而、書付差出申候、

一〇　毛利元就感狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ(小早川家文書元就公隆景卿ヨリ浦兒玉へ御書翰)第五三七號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

一一　毛利元就感狀寫

宗勝ノ坪生要害ノ戰功

於今度坪生(備後)要害、御高名無申計候、殊敵被討捕候、無比類候、悉皆貴所依御心懸、御粉骨御張儀可然候事、肝要此事候、貴殿之御手に數輩被討捕候、外郡實儀目出度候、委細柏村可申候間、閣筆候、恐々謹言、

(天文十六年)五月九日　　元就

乃美(宗勝)新四郎殿
御宿所

一二　毛利元就書狀寫

味方ノ衆討死

宗勝ノ退却

追而申候、今度御方之衆歷々御討死候、誠何共可申樣なく、口惜き(さ)不及申事候、如是罷立御用被仰付候事者、無比類、本路不能申候へ共、なまりよ〳〵けなく御座候而、かつうい勝事存候、於向後者、是非隆景へも內々御申なり、御方も被成其御心得候いん事、肝要候〳〵、無比類儀者不及申候へ共、なまりに〳〵けなく候ていと存計候〳〵、〳〵、

(永祿十二年)十月十七日　　元就御判

宗勝ゟ申給へ

一三　毛利元就書狀寫

兒玉(就忠)三郎右門尉所へ御狀、披見申候、至立花表為令申候ッ、今度無異儀御取退候叓、本望之至候、何も從是此等之儀、態可申之条、先以閣筆候、猶從兒三右所可申候、恐々謹言、

（永祿十二年）極月十日　　元就御判

乃美兵部丞殿
御宿所

一四　毛利元就書狀寫

先日者御出、祝着之至候、殊雨降之砌、別而御辛勞無申計候、雖然、萬端申談、本望候、仍内々如申合候、沖衆ゟ之書狀等相調、山縣筑後守進置之候、悉皆被加御指南、可然樣可被仰調儀可爲祝着候、猶委細此者可申述候間、不能詳候、恐々謹言、

五月廿八日　　元就御判

乃美兵部丞殿
御宿所

一五　毛利元就書狀寫

從是与存候處、示預候所仰候、以一書具令申候、

一兒嶋邊同与州堺目之儀、無異儀候哉、一方肝要候、与州之儀、無事之樣内々可有御故實候、

一雲州之儀、嶋根ゟ陣を替候、唯今末次之城普請申付左候而、城衆兵粮差籠候者、多分可明隙由申越候、可御心安候、

一下口之事、豊州衆龍藏寺表引退候樣ニ其聞候、少々者後之分候哉、何篇彼表を退散候者、門司關之間ゟ競望、可爲必定候、

一此時來嶋方爲始、警固之儀別而請扶持候ハて不叶儀候、前後有御分別、能々被仰分候而被置候ハてハと存計候、貴所一段御心遣ならてハ有間敷候、當時河野殿幼少之事候間、家中衆へ銘々申度候、此等之儀共をこそ以滿願寺申候つれ、

一京都之儀、近日差上を候飛脚罷下候、兩方取相半之由候、

一備中表之事、備前衆至石川領中相動候、咏方中ゟ打出由候、可有如何候哉、此外珍敷儀候者、可被申候、無盡期候之間、先以閣筆候、恐々謹言、

（元龜元年）八月廿六日　　元就御判

乃美兵部丞殿
御返報

一六　毛利元就書狀寫

近日者自是令無沙汰候間、令申候、

沖衆へノ書狀

島根陣替末次城普請

兒島井ニ豫州境目

豊州衆龍造寺表退散

來島方警固ノ扶持

京都ノ狀況

備前衆石川領中ニ向フ

備前衆ノ行動

一上口之議、備前衆彼方此方相動趣候ニ候ヘ共、無差支先々引退躰之由候、可然候、

下口

一下口之儀、彌御聞合候而、可承候、又可被成御心得候、

高瀨表

一雲州動之儀、高瀨（出雲）表者、稻大概薙捨之由候、左候而、明隙、自昨今之間、又嶋根ゟ打廻之由候、何篇從兒周（兒玉就方）所具可申候、猶此者可申述候、恐々謹言、

（元龜元年）八月七日　元就御判

乃美兵部丞殿　御宿所

一七　毛利元就同隆元連署狀寫

對兩三人御狀、具披見申候、条々得其心候、此口之儀、一日ゟ差急候而可然由、心得申候、少ゟ油斷有間敷候〳〵、幾度申候而ゟ、其口御武略無比類存計候、何も從是以使者御禮可申候、迚兩三人具申候条、先一筆申候、恐々謹言、

（弘治三年カ）三月十日　備中守隆元御判　右馬頭元就御判

乃美兵部丞殿（陣）　御陳所

大内義長　内藤隆世　長門勝山　籠城

一八　毛利元就同隆元小早川隆景連署狀寫

屋形（大内義長）内藤（隆世）事、長州勝山被取籠之由、自彼方之注進狀、委細披見候、就其赤左（赤川元保）、桂兵（元忠）、粟右（粟屋元親）、兒三（兒玉就忠）右進之候条、委細可申談候、恐々謹言、

（弘治三年）三月十五日　隆元御判　元就御判　隆景御判

乃美兵部丞殿

宗勝ノ門司要害ノ戰功

一九　毛利隆元感狀寫

尙々、御疵無心元候、御療治肝要候、

急度申候、去十日、至門司要害敵仕懸候之處、警固從城內被差合、則被仕崩候、敵數多被打捕、初合戰被得大利候事、太慶此事ニ候、御方以御張行如此候、剩御粉骨、被々切疵之由候、誠無比類存候、御高名不淺候、追々以使者可申入候、先聞懸、一筆令申計候、恐々謹言、

（永祿四年）十月十三日

乃美兵部丞殿
御陣所

備中守
隆元御判

二〇　毛利元就同輝元連署狀寫

今度豊前表動之儀、如存分所々放火候、殊敵數人被討果候、誠祝着此事候、旁御辛勞之段申為疎候、爲此兩人進之置候、委細可申候間、不能詳候、恐々謹言、

（永祿十二年）壬五月廿九日

輝元御判
元就御判

乃美兵部丞殿
御陣所

二一　毛利元就同輝元連署狀寫

此方之者共所へ、依連署申候書狀之躰、爲（マヽ）久千万候、可有御免候、其表御辛勞御心遣不及申候、從是以使者御禮可申候、恐々謹言、

（永祿十二年カ）七月十八日

輝元御判
元就御判

乃美兵部丞殿
御陣所

右拾貳通、御本書私末家乃美新四郎与申者方ゟ遣置候、細川越中守殿御家賴ニて居申候處ニ、五六年以前新四郎亂氣仕、家及斷絶候、彼者老父勝定と申者所持仕、肥後ニ居申候事、

二二　小早川德壽丸（隆景）書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書　小早川隆景公御書〕第二八號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

二三　小早川隆景感狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書　小早川隆景公御書〕第四三號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

二四　小早川隆景書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書小早川隆景公御書〕第二九號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

二五　小早川隆景書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書小早川隆景公御書〕第三〇號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

二六　小早川隆景書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書小早川隆景公御書〕第三一號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

二七　小早川隆景書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書小早川隆景公御書〕第三二號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

二八　小早川隆景書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書小早川隆景公御書〕第三四號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

二九　小早川隆景書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書小早川隆景公御書〕第三五號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

三〇　小早川隆景書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書小早川隆景公御書〕第三七號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

三一　小早川隆景書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書小早川隆景公御書〕第三九號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

三二　小早川隆景書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書小早川隆景公御書〕第四一號文書トシテ收メリ、故ニ今省略ニ從フ、

三三　小早川隆景書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書小早川隆景公御書〕第四二號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

右拾貳通、御本書、所持仕候、

三四　小早川隆景書狀寫

誠昨日者、裳三ニ御返事、得其心候、

一上之關之儀、來玄被仰渡之由、尤可然候、彌河左ふも可被仰含候、

一兒（兒玉就英）藏事、爲年頭禮儀、罷越候、動方角等之儀、未聢々相澄之由、申候、自分禮迄ニ來候、

上關　毛利氏ノ動方角決セズ

一因嶋明日可來之由、得其心候、打續取亂候て、可有御推量候、猶從是可申候、恐々謹言、

正月十三日　　隆景 御判

兵部（宗勝）丞殿

因島

三五　小早川隆景書狀寫

中右歸候て、來嶋返事之趣、令承知候、仍新居表之儀、可有如何候哉、定彌可有左右候、無心元之由、早々來嶋（江）申遣度候〳〵、

一動方角之事、從吉田于今無左右候、澄かゝ候由、兒藏物語候、

一明日南太事成羽（備中）可差上候条、彌申談度候、近日者、不遂面候之間、差立さる儀おく候ても、今晚御出候者、彼是申承度候、因嶋逗留候而、今日中若御隙入候者、明日早々可有御出候、然者、南太事も、相待を候て、可申談候、恐々謹言、

正月十五日　　隆景 御判

兵部丞殿

隆景

來島返事

成羽ヘノ使者

常山へノ人數

三六　小早川隆景書狀寫

唯今從(備中)猿懸(備中)此數通到來候、然刻、彌常山へ之人數肝心迄と存候、不及申候へ共、誠被打振候て、御指上を肝要迄候、此方之者、今朝申辻ニ涯分申付候、一村驛ゟ、又如此到來候、頓被罷上候之由候間、肝要候、

大崎衆

一大崎衆、も〳〵と候間、是非共常山へ可罷籠由、早舩被差遣、可被仰候、一不及申候へ共、是非共吉充亮康短束候樣ニ、能可被仰候、自是も重疊申遣候、恐々謹言、

(天正三年)正月晦日　(小早川隆景)乃兵ら　隆景御判

右三通、御本書私末家浦四郎兵衞方ニ遣置、所持仕居申候事

宗勝ノ上口ノ軍忠

三七　小早川隆景書狀寫

去年以來上口長々被遂在陣、於所々被抽軍忠之次第、一切無忘却候、於其段者、重疊可申候、先御辛勞之通、申計候、仍拜領之御服幷太刀一腰(金覆輪)兩種進之候、猶桂孫七郎可申候、恐々謹言、

二月七日　隆景御判

兵部丞殿

沖家不慮

三八　小早川隆景感狀寫

今度此境上勢打下刻、就(來島通昌)沖家不慮之儀、當口張合等難成趣候之處、悉皆以御才覺、被相調、於于今者所々相拘、先以太慶候、殊至來嶋兩度被及行、勝利本望候、心底之通、具相含此者之条、可申達候、仍太刀一腰幷一種進之候、猶重疊期吉事候、恐々謹言、

宗勝ノ來島ニ於ケル兩度ノ勝利

(天正十年)七月五日　隆景御判

乃美兵部丞殿ら　隆景

宗勝ノ伊豫ニ於ケル戰功

三九　小早川隆景感狀寫

今度豫州表之儀、最前有渡海、土州(長曾我部)衆鳥坂取詰之刻、後卷陳(敵)取之儀、悉皆以御行、敵敗軍候、殊令出張、爲初宇都宮(豐綱)兩城、(伊豫大津八幡)彼境無殘所任存分、飯國候、太慶此事候、誠

御忠儀之至候、仍太刀一腰國盛進之候、猶岡和泉守可申候、恐々謹言、

（永禄十一年）五月六日　　隆景御判

乃美兵部丞殿　　隆景

防州警固切取

四〇　小早川隆景感狀寫

今度防州警固切取、本望候、寔前着合被仕取候事、無比類候、誠御心懸之至、于今不始儀候、猶桂左衛門大夫（元忠）可申候、恐々謹言、

（天文廿四年）六月十一日　　隆景御判

乃美兵部丞殿

右四通御本書、前々爲申候通肥後ニ罷居候乃美勝定与申者、私末家ニ而御座候故、彼者所持仕居申候事、

吉川經言ノ出津

四一　小早川隆景書狀寫

吉川（經言廣家）又次郎爲暇、爰元出津候時、舟上着次第被見懸候て、來儀候者可爲祝着候、

（天正十一年）九月十六日　　隆景御判

乃美（宗勝）新十郎殿

同　新三郎殿

右御本書礒兼求馬所持仕居候、新十郎与御座候者、私高祖父備後与申候者若名ニ而御座候新三郎与御座候者、備後弟礒兼加賀与爲申者若名ニ而、求馬先祖ニ而御座候、依之御本書彼家ニ遣置、今以求馬所持仕居申候事、

輝元宗勝ノ指南ニ預ル可シ

四二　毛利輝元書狀寫

御方之事、洞春（元就）常榮（隆元）之時者、何篇無隔心被申談候、今以不存忘脚候、若輩之故、毎事罷成疎遠、心外ニ候、向後之儀、萬事別而可預指南候、如此申達候上者、御方御一家毛利家在之間者、忘脚有間敷候、代々此辻可申談候、日本國大小之神、嚴嶋兩社明神ゑ御照覽、無僞候、心底之所、猶兒周可申候、恐々謹言、

六月二日　　毛利右馬頭輝元

乃美兵部丞殿
御宿所

右御本書所持仕居候處、前々為申候通、私曾祖父備前代ニ、家藏共ニ火災ニ付、此御本書為焼失仕候得共、其砌ゟ之寫所持仕候付、書付申候、

四三　河野通直書狀寫

宗勝ノ九州渡海

其表御渡海之由於度々御辛勞之段、不尋申儀候、節々可申之處、斯間所勞之故、無音、非本意候、于餘疎遠之樣ニ候之条、松浦左馬進差進之候於趣者、相含口上候、恐々謹言、

（永祿十二年カ）
八月十四日　　（河野）通直判

乃美兵部丞殿

四四　氏名未詳書狀寫

來島ニアル安宅舩

尓來無音之樣候、切々可得御意候處、兎角罷過、非本意候、仍而來嶋ニ居置候安宅舩之儀、此方廻候而、相拵、自用為相叶、又者自然其許御用ニも可罷立と存候而、來嶋之旁へ申理候處、從蟇劦蒙仰子細候条、不能分別之由、被申候、乍去、今之分ニ候而者、蟇州之御用ニ立事も成間敷候之条、某拵候て、何時成共御用ニ可立と存候而、申事候、右之趣、於御分別ハ、來嶋之旁へ申聞、可相廻候、委細之儀者、下平右可被得御意候、恐々謹言、

十二月七日　　得右
宗勝らの御宿所　　通直判

四五　無庵紹意書狀寫

宗勝警固ノ手柄

如仰上口被任御本意、乍不初于今、上下之御太慶、難盡筆毛存候、不成數愚子迄為、以御計略、安穩ニ罷居候と、旦夕雖存知候、申上之儀、却而輕薄之樣候間、默止仕候、如御意、今度之御警固、御貴殿之御事、世上之御名高聞与申之、虎口前之儀、常々手堅被仰付之条、一大事与存之處、如御存分之被仰付之、天下之譽、此節候、愚僧社折々乍不及、可申上之處、不叶普請被申付之、檀命重存知、每事無禮背本意存候、結句、被出思召、御芳書、殊一折百致拜領候、必以參上、可得御意候、委細御

使者ゟ申上候条、可預御傳達候、恐惶謹言、

（天正四年）十月廿二日　　宗勝

参人々御中　御返報

宮島ニテ鮫ノ破損

宮島年寄衆

四六　冷泉元満書狀寫

其後者不得御意候、非本意存候、仍此舟頭於宮嶋舟乘損候、然者、從吉田（毛利）様御檢使被成御出、荷物少々揃被下候、就夫、宮嶋年寄衆ゟ御狀一被成御遣、此舟頭被懸御目候条、彌無異儀樣ゟと、被仰達候者、於我等可畏存候、委曲此者ニ申含候条、先不能盡筆候、恐々謹言、

六月十二日　　元満（冷泉）判

乃美兵部丞殿　　紹意判

同少輔五郎殿　参御宿所　　無庵　紹意

乃美少輔五郎

是者、大坂一向門跡ゟ兵粮御籠被成候節、彼寺役僧方之書狀ゟ申傳來候、

右四通所持仕居候、

四七　兒玉就忠書狀寫

萬壽（乃美元信）殿へ御合力之地、打渡進之候、可有御入部候、於旨儀者、御使へ申入候、御吉事重々可申入候、恐々謹言、

五月廿三日　　就忠判

乃美兵部丞殿　ゟゟ御返報

兒玉三郎右衞門尉　就忠

乃美兵部丞殿　ゟゟ御返報

萬壽へ合力ノ地

宗勝兄弟新四郎

四八　兒玉就方書狀寫

御兄弟新四郎（元信）殿儀付而、遂披露候、從是可被申候、殊今度被負御手之由、承候、無御心元存候、此等趣ゟ、大多和方被申上候、御懇之由、目出度候、恐々謹言、

兒玉周防守

五月廿一日　就方判

宗勝

參人々御中

四九　內藤元榮書狀寫

佐東五ヶ內吳御給地代所

(安藝)佐東五ヶ之內吳御給地代所事、度々被仰越趣、承屆候、此比者、關東之御催、御上洛之御取沙汰一篇候て、被閣万事候間、餘並御引渡候節、涯分不可存疎略候、猶御使に申候、恐々謹言、

(天正十八年)正月十九日　(內藤)內与三

乃美宗勝井上春忠

(乃美景繼)乃備樣らゟ御返報　元榮判

右三通私末家浦四郎兵衛方所持仕居候事、

五〇　足利義昭御內書寫

去七月、大坂海上之通路、敵船取誥、難堪之砌、差上兵船、悉切埋、數百人討捕之、幷

ノ大坂海上ノ戰功

郎從乃美(宗勝)兵部丞、井上又(春忠)右衛門尉粉骨之由、被聞食訖、西國移座始勝利、神妙之通、可申聞之、猶(眞木島)昭光可申候也、

(天正四年)十月十五日　義昭公御判

小早川左(隆景)衛門佐とのへ

右御本書、松平安藝守樣御家賴井上五郎兵衛家ニ取置申候、

五一　眞木島昭光奉書寫

宗勝ノ播磨在陣

其表永々御在、(陣脫)尤御忠儀存候、御感悅候、(播磨)上月城火急可爲落去と、彌此度別而可被抽戰功支肝要由、上意候、御粉骨之段、神妙被思召通、得御意可申由、被仰出候、恐々謹言、

(天正六年)五月七日　(眞木島)昭光判

乃美兵部丞殿

五二　兒玉就方書狀寫

宗勝ノ五ケ表ノ戰功

毛利氏ト和睦幹旋

今度於五ケ表（嶺後）、御高名無比類御動之趣、申聞候条、一通以被申候、何ケ度申候而、方々（茂隆）御心懸、誠々乍恐目出度候、我等事、則罷歸候、貴公樣御下之条、無曲存候而、一兩日之逗留有而、罷歸候、此面御用候之者、可蒙仰候、次甲之儀、彼方相尋候而、于今候者、可進候〳〵、猶重而可得御意候、恐々謹言、

（天文十六年）五月九日　　就方（兒玉）

乃美新四郎（宗勝）殿　　判
御宿所

右貳通、本書肥後居候乃美勝定方ニ所持仕居申候事

五三　政宗書狀寫

其後者不申通候、仍元就此方半之事、先々別而申談候き、近年依弓箭姿、申隔、所存之外候、雖然、連々公方樣被加御言儀候条、隆景以御入魂元就無御別儀者、可爲本望候、併貴所御馳走賴入候、將又、雖輕微之至候、兩種進之候、猶委曲野本源左衞門可申候、恐々謹言、

五月十三日　　政宗（判）

乃美兵部少輔殿
御宿所

右本書礒兼求馬方遣置、所持仕居候事

五四　乃美宗勝拜領感狀幷陣所合戰場付立寫

乃美兵部丞宗勝一代方々ニ而働ニ付而、元就公隆元公隆景公幷秀吉公ヨリ之御感狀、

初陣十六之年、御感狀有之
一出雲國尼子御取詰之時、嶋根之御陣ニ而之鑓之事

御感狀有之
一能見嶋人之瀨ニ而之鑓之事

御感狀有之
一土州戸坂ヵ峯ニ而之鑓之事

御感狀有之
一豊前國門司ニ而之鑓之事、疵所なゝ長刀ニ而右之うて、

御感狀有之
一筑前國立花籠城之事

御感狀有之
一攝州木津籠舩被燒捨、大坂門跡ゟ兵粮迄入候事

御感狀有之
一播州高砂邊符之町放火之事

出雲島根ノ初陣
能見島人瀨
土佐戸坂峯
門司
立花籠城
木津川籠船燒捨
播磨高砂

豐後今井　御感狀有之
一豐後今井元長ニ而之手柄之事
伊豫麻島　御感狀有之
一豫州麻嶋ニ而之鑓之事
嚴島　御感狀有之
一嚴嶋陶御取詰之時之鑓之事
讃岐摺臼山　御感狀有之
一讃州摺臼山合戰鑓之事
攝津花熊　御感狀有之
一攝津國花熊籠城鑓之事
伊豫西王寺城責　御感狀有之
一豫州たかふる西王寺城責之時鑓之事
備前兒島蜂濱　御感狀有之
一備前國兒嶋蜂濱ニ而之合戰鑓之事
田坂善慶成敗　付田坂善慶御成敗被仰付事

右之通御感狀御本書寫共、遲轉仕候得共、如是覺書所持仕候ニ付、書付差出申候事

〔浦家文書寫　閥閱錄十一ノ二浦　圖書二冊之內二〕

五五　大內政弘下文寫

〇コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書　大內家御書〕第一號文書ト
シテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

五六　大內義興感狀寫

〇コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書　大內家御書〕第四號文書ト
シテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

五七　大內義興感狀寫

〇コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書　大內家御書〕第二號文書ト
シテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

五八　大内義興感狀寫

〇コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書大内家御書〕第三號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

五九　大内義興書狀寫

〇コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書大内家御書〕第五號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

六〇　大内氏老臣連署奉書寫

〇コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書大内家御書〕第一六號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

六一　大内義興感狀寫

〇コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書大内家御書〕第六號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

六二　杉興宣奉書寫

〇コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書大内家御書〕第一三號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

六三　大内義隆書狀寫

〇コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ浦家文書大内家御書第八號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

六四　大内氏老臣連署奉書寫

〇コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書大内家御書〕第一四號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

六五　弘中隆兼添狀寫

〇コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ浦家文書大内家御書第一五號文書

トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

六六　大內義隆書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書　大內家御書〕第七號文書ト
シテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

六七　陶隆房晴賢感狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書　大內家御書〕第一〇號文書
トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

六八　陶隆房晴賢感狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書　大內家御書〕第九號文書ト
シテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

六九　乃美賢勝軍忠狀寫

○コノ文書ノ全文既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書　大內家御書〕第一一號文書
トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

七〇　陶晴賢書狀寫

○コノ文書ノ全文既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書　大內家御書〕第一八號文書
トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

七一　大內義長下文寫

○コノ文書ノ全文既ニ原本ニヨリテ〔浦家文書　大內家御書〕第一二號文書
トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

七二　毛利元就書狀寫

於今度富田（田雲）退口、御手衆粉骨之段、幾度申候而為、本望此事候、左候て、悉皆井上又右衛門（春忠）先懸候、不相限此度、御方衆高名之儀者、每度井又張行候、難謝存計候、我等少為無忘却候、能々被仰聞候而可給候、猶此者可申候、恐々謹言、

富田退口　井上春忠ノ先懸

（永祿九年カ）五月十七日　元就

隆景　御陳（陣）所

七三　毛利元就書狀寫

誠於其方者、不珍敷候子細候、又加樣申候程、如何之樣候へ共、乍去、今度之供之次第、寔於我等者、難謝迄ニて候、仍一腰遣候、有相次第之事候間、何と口惜候、猶此者可申候、恐々謹言、

十一月廿二日　元就

井上又右衛門尉殿

備後高杉城ノ戰功

七四　小早川隆景感狀寫

去月廿三日、備後國三谷郡高杉城斬崩時、馬屋原右衛門尉討捕之、剩左指被疵、別而碎手戰功、寔無比類候、仍感狀如件、

天文廿二年八月二日　隆景

井上彌四郎殿

井上彌四郎

安藝能見島發向

七五　小早川隆景感狀寫

去月廿九日、（安藝）當國佐東郡能美嶋發向之時、敵一人討捕之、粉骨、尤神妙候、彌可抽忠節候、仍感狀如件、

天文廿三年十月廿一日　隆景

井上彌四郎殿

春忠ノ嚴島ノ戰功

七六　小早川隆景感狀寫

去朔日、（安藝）當國佐西郡嚴嶋陶陣山斬崩時、敵一人討捕之、粉骨之至、無比類候、誠神妙者也、仍感狀如件、

天文廿四年十月廿日　隆景

井上又右衛門殿

備中松山落去

七七　小早川隆景感狀寫

去六日、備中國松山落居之時、敵一人僕從小三郎討捕之、誠神妙者也、仍感狀如

件、

永祿四年四月廿日　　隆景

井上又右衞門尉殿

七八　毛利隆元感狀寫

去廿六日門司表合戰、高名之由、令承知候、無比類候、必別而可申候、注進付而、先門司表ノ戰功

一筆申付候、恐々謹言、

（永祿四年）十月卅日　　隆元

井上又右衞門尉殿

七九　小早川隆景感狀寫

去永祿（四）五年拾月廿六日、於豐前門司表、大友衆与及合戰、無比類候、尤感悅候、同豐後衆退散

霜月五日之夜、豐後衆退散之時、抽諸人付（送）違、敵一人討捕之候、因茲數百人討留

候、忠儀不淺者也、仍感狀如件、

元龜四年　　隆景

十月二日

井上又右衞門尉殿

八〇　毛利元就同輝元連署感狀寫　本庄氏討果ノ戰功

去永祿五年拾一月五日、本庄一類討果之時、人躰越中守事討捕之候、誠粉骨之（帥光）

段、無比類、感悅此事候、仍狀如件、

永祿拾年　　輝元

四月九日　　元就

井上又右衞門尉殿

八一　小早川隆景感狀寫　同上

去永祿（五）六年拾一月五日、本庄一類討果之時、人躰越中守事討捕之候、誠別而忠

儀無極者也、仍感狀如件、

元龜四年　　隆景

十月二日

井上又右衞門尉殿

門司表ノ戰功

去霜月廿六日、於豊前門司表、大友衆と終日及取相候之處、其方抽諸人遂合戰候、其動無比類、感悦不淺候、因茲、得勝利候、本望候、將又、彼衆退散之時、諸人無聊候之處、此方悴者渡邊小三郎其方兩人付送、敵討捕候、此儀故、數百人討留候事、大望之至候、彌可加褒美候、謹言、

（永祿四年）十二月十三日　　元就

井上又右衞門尉殿　　隆元

同上

八三　毛利元就書狀寫

井上又右衞門門司表、霜月廿六日合戰、無比類動、中々不能申候、隆元我等爲感悦無餘と申事候、殊敵退口之時、又右衞門尉此方被官渡邊小三郎兩人粉骨故、數人之者討果候、旁以難謝候、此旨能々可被仰与候、恐々謹言、

井上又右衞門門司表、霜月廿六日合戰、無比類動、中々不能申候、隆元我等爲感悦無餘と申事候、殊敵退口之時、又右衞門尉此方被官渡邊小三郎兩人粉骨故、數人之者討果候、旁以難謝候、此旨能々可被仰与候、恐々謹言、

（永祿五年）正月十五日　　元就

隆景

御陣所

星上退口ノ戰功　輝元初陣

同上

八四　毛利元就同輝元感狀寫

去月廿八日、於（甘雲）星上退口、敵付送候處、返合、一番鑓仕、剩尼子被官原彌四郎事討捕、別而碎手段、粉骨之次第、尤感悦無極者也、殊輝元初而出張候處、以一身覺悟、得大利候、誠每度忠儀無比類候、仍感狀如件、

永祿八年五月九日　　輝元

元就

井上又右衞門尉殿

八五　小早川隆景感狀寫

去永祿八年四月廿八日、於雲州星上退口、敵付送候處、返合、一番鑓仕、剩尼子被

官原彌四郎事討捕、別而碎手段、粉骨無極者也、仍感狀如件、

元龜四年
十月二日　　井上又右衞門尉殿　　隆景

富田城麓中須ノ戰功

八六　毛利元就同輝元連署感狀寫

去月廿一日、於(田儀)富田城麓中須、敵付送、既此方者共難儀之處、及合戰、尼子被官福間と一左衞門事討捕之候、於度々忠儀無比類次第候、隆景相談、連々可令褒美者也、仍感狀如件、

永祿九年五月五日　　輝元　元就

井上又右衞門尉殿

同上

八七　小早川隆景感狀寫

去永祿九年四月廿一日、於雲州富田城麓中須、敵付送、既此方之者共難儀之處、及合戰、尼子被官福間と一左衞門事討捕之候、度々粉骨無比類者也、仍感狀如

件、

元龜四年
十月二日　　井上又右衞門尉殿　　隆景

高瀨稻薙退口ノ戰功

八八　小早川隆景感狀寫

去永祿(元龜元年)十四年七月廿七日、雲州高瀨稻薙退口、敵付送候之時、一口相支、心懸之次第、無比類候、連々可加褒美候、謹言、

元龜四年
十月二日　　井上又右衞門尉殿　　隆景

立花陣ノ戰功

八九　小早川隆景感狀寫

去永祿(マヽ)十三年拾月十五日之夜、筑前立花陣取退候時、抽諸人供仕、初中後心懸之次第、無比類候、連々可令褒美候、謹言、

元龜四年
十月二日　　井上又右衞門尉殿　　隆景

木津河口ノ戰功

九〇　小早川隆景感狀寫

今度上口諸警固指上候事、遙々之儀、殊　公方（義昭）樣御動座已後、初而之御手合候之處、乃兵（乃美宗勝）兒（口玉就英）藏太申談、悉皆以調儀、木津河口相支敵船悉切崩、數百人討捕、無異儀至大坂兵粮差籠、得大利候之段、藝州之覺、此事候、併短束之故候、連々可令褒美候、恐々謹言、

（天正四年）七月廿六日　　隆景

井上又右衞門尉殿

元吉城ノ戰功

九一　小早川隆景感狀寫

去廿日、至元吉（伊豫）、惣國之衆取詰之處、則時懸付、敵雖爲大軍、居覺悟仕懸、無左右切崩、數百人討捕候、他國渡海之儀候条、無心元候處、存之外之大利、祝着此事候、其方調儀短束之段、具ニ淨念申候、乍勿論、神妙候、彌國中之儀聞合、追々注進待入候、家來之者共辛勞之段、相心得可申与候、重而銘々可加褒美候、猶安國寺中屋ゟ三兵衞尉任口上候、謹言、

（天正五年）壬七月廿二日　　隆景

井上又右衞門尉殿

京城附近先手ノ戰功

九二　小早川隆景感狀寫

去正月廿六日、大明勢都近邊寄來之處爲先手、及合戰、粉骨、神妙之至候、連々可加褒美者也、仍狀如件、

文祿貳
六月七日　　隆景

井上五郎兵衞尉殿

備中猿懸領内四拾瀨打田

九三　毛利輝元知行充行狀寫

其方事、於所々數ヶ度忠儀之段、慥承知候、寔無比類候、於我等祝着候、然間、備中猿懸領之内四拾瀨三拾貫、打田三拾五貫足之事、預ヶ置候、知行肝要候、於近邊遂志度、雖内々ニ候、無明所等之条、先以如此候、仍一行如件、

天正四年正月廿八日　　輝元

井上又右衞門尉殿

春忠ノ忠義

九四　小早川隆景書狀寫

其方事、於所々抽忠儀候、然者、感狀等頓可進置之處、心安存、于今延引候、乍勿論、數年之粉骨、無忘却候、仍刀一腰進之候、志計候、謹言、

（天正元年カ）十月八日　隆景

井又右

同上

燒山

九五　小早川隆景書狀寫

猶々、三ヶ条、次おゝら此をの申聞を候、可有分別事干要候、

其方數年之忠儀辛勞之段、誠無比類候、內々雖無忘却候、あまり心安思候て、無申聞儀候、彌別而大小事及心長久可相嗜事干要候、然間、燒山之事、可進置候、趣者委細彌左可申渡候、謹言、

（元龜四年カ）四月廿一日　隆景

又右衞門殿

九六　羽柴秀吉朱印狀寫

豐前香春岳要害取詰

（豐前）香春嵩要害取詰候、付城等相拵、在陣之由、黑田（孝高）勘解由言上候、寒天之時分、彼是辛勞感思召候、然者、城中楯籠之族、一人ゟ不扳退之樣、可申付候、度々被仰聞候卒尓之動無用ニ候、來春可被出馬候、其間少々被仰候迄、下々能々入念可申付之段、肝心候也、

（天正十四年）十二月十二日　秀吉公御朱印

井上又右衞門（マヽ）らゐ

備中表歸陣

九七　口羽通良書狀寫

態申上候、備中表被明御隙御歸陣、先以目出候、來春之御行、彌御儀定、乍恐肝要存候、吉田へゟ此等之趣、切々申入候、仍今度中務大輔致御供候、不始于今御懇意、外聞實儀忝候、將又、御開陣爲御祝儀、御太刀一腰鳥目三千疋進上候、何樣吉田御出之時、可申上候、此由御心得奉賴候、恐惶謹言、

（天正二年）十二月一日　（口羽）通良

井上又右衞門尉殿

九八　口羽通良書狀寫

態申上候、生楚之儀、二之丸迄致懇望之由候、定而甲之儀ゑ、とや一着可有御座存候、此度之御行可然候へハ、豐州九州迄之覺、一廉之御事候、左候間、御渡海ゑ可相延候之条、千万目出度候、仍平岡懇望之由候間、隆(宍戸)家至嶋本御出之由候、何ゑ与州御無事之儀、可然存候、今度平岡表裏之儀、不成隱便御叓候へ共、河野殿御一味候之条、不及兎角候、以生楚之響、ちとハ被召誥度事候へ共、道後之御ためよ候之条、不及申候、生楚之儀、一着可有御座候へ共、彌時宜承度候而、申上候、御繁多之砌、御返事之御造作、無勿躰候、又後藤所之儀、近日者不承候、堅固之由、雲州傳ニ者其聞え候、猶重而可得御意候、恐惶謹言、

卯月四日　　通良

井上又右衞門尉殿　　下野守通良

阿州平定

九九　福田盛雅書狀寫

畏而申上候、抑阿州兩國之儀、如御存分被仰付候段、尤目出存候、仍御太刀代致進上候、御祝儀迄候、隨而理昌岡山所緣之儀、重而藏田殿ニ得貴意候間、可被仰上候、如何樣共相調申候樣、言上之外無之候、此旨可預御披露候、恐惶謹言、

(天正五年)後七月十八日　　盛雅

井上又右衞門殿

右之御證文并口羽下野守通良福田三郎右衞門盛雅方之書狀者、先年松平安藝守殿御家來井上五郎兵衞致所持候寫、私方ニ差越候付而、寫仕、差出申候、

一〇〇　大內義興書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔小早川家文書義興公其他ヨリ御書翰〕第四七六號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

一〇一　大內義隆書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔小早川家文書義興公其他ヨリ御書翰〕第四七八號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

一〇二　義正書狀寫

○コノ文書ノ全文、既ニ原本ニヨリテ〔小早川家文書義興公其他ヨリ御書翰〕第四七七號文書トシテ收メタリ、故ニ今省略ニ從フ、

隆景ノ上口ヨリ歸城

一〇三　穗田毛利元清書狀寫

態申上候、今度上口之儀、諸所被任御存分、頓御歸城、目出度存候、仍我等事、致御供候處、種々被付御心、御懇之事忝候、早々可申上之處、遲々、慮外之至候、殊此間者、御懇被仰下候、過分之餘、致無沙汰候条、申上候、近日此表被成御出之由候間、重疊可得御意候、恐惶謹言

（天正六年カ）十二月六日　元清御判

隆景様　御申

隆景笠岡着陣

輝元播磨進發

一〇四　天野毛利元政書狀寫

（備中笠岡）至其表御着陣之由、從岡山被申越候間、態申入候、先度以書狀得御意候處、來十六日、輝元御進發付而、先十二日從貴邊御出張之由、預示候之条、（宇喜多）直家相談、來十六日、至播州罷出候、道等不可存由斷候、將又、雜賀幷大坂面之事、彌堅固之由候之間、尤可然存候、猶追々可得貴意候、恐惶謹言、

（天正六年）三月十五日　元政判

（隆景）小早川殿　參人々御中

右小早川御家之御證文、先祖以來致所持候付而、寫差出申候、

十神山城陷落

萬願寺平田杵築諸城ノ拘樣

一〇五　毛利輝元書狀寫

今度（出雲十神山城）十神不慮付而、其表氣遣推量申候、然間、人數之儀、海陸各差出候之条、十神之儀、則可爲一途候、於元春（陣）陳易者、（出雲萬願寺）當城（出雲）平田杵築拘樣事、是又得其心候、（元春）神西（出雲）に談合候て、可相定申候、御懇承候、祝着候、恐々謹言、

（元龜元年）十月十一日　輝元

（元保）志道大藏大輔殿　御返事

一〇六　小早川隆景書狀寫

隆景ノ坪田着陣

只今至坪田着陣候、早々可有御越候、彼是可申談候、次宇喜田筑前守、兒嶋へ罷退候、先以肝要候、歟中之趣被聞合、可承候、恐々謹言、

十月十七日　左衞　隆景

井次左

大兵

一〇七　乃美宗勝言上狀寫

土佐一條家

河野宇都宮兩家ノ干戈

毛利氏ノ河野氏加勢

引卒三備州藝防長衆有數艘艤、左(隆景)金吾伊豫國渡海之事、非可被挫宇都宮遠江守豐綱城墎、抑土佐一(兼定)条家者、不異武家近代貽作扛華軒榮耀、眼武士、詫宇都宮所緣、被墜名家、絕言語次第也、爰河(通直)野宇都宮兩家、連年宿意令顯然、及干戈、併假藝(毛利)州之威、欲散河野家鬱憤、勿論藝与兩州親昵粧、繁榮倍不輕、袷云恰云、不可不被救之、兩家同意令純熟以來、河野勢成動宇都宮知行、則以藝家加勢、河野籠旗珍重云、從土州(長曾我部)爲宇都宮勢出張、宇和郡衆三間郡衆西苑(公廣)寺殿(園)、雖爲河野一味、近年土州衆四州之覺不淺、因歎不屑、右之兩郡、一品西苑寺殿、於多(伊豫)田張宿陣、組宇都宮被覃其行、藝豫兩國之輩、爲土州衆出口請手、執誘鳥(伊豫)坂峯、人數辨當差籠之、

長曾我部軍鳥坂峯ニ敗ル

毛利軍ノ興居島着岸

大津八幡兩城落去

成堅固調儀之處、土州衆截懸、無明無實及防戰、尤以請留也、歟圖戰散々、忽土州衆失軍利、雖然、不能皈國、郤多田爲藝家衆不可不散々、一不可成其行、以兼路之旨、促早打、分國各出津之催不廻踵、國旁自身之出張、不例之仁者、不及欺其身、以一族馳走、鞆(備後)笠(備中)岡尾(備後)道三原忠(安藝)海高崎竹原津々浦々出船、去月十日、同日豫州興庄(居カ)嶋渡着、於彼所揃諸勢、急速可有渡海之儀、定洩聞、土州陳(陣)於立所敗軍、一条家瑕瑾到來也、多田令現形、土佐境立柄、令注進之事、脚力如打燧急度差寄、大津(伊豫)八幡兩城可切崩之支度、鉄炮石銃團子銃仕寄之板、勢籠、温飩火、尾頸堀入、諸口之執誥無可扳足之樣、籠城之輩、消肝懇歎頻不止勝、古于今臨于時乞降不珍々々、悔先非、兩要害速去渡、無恙一命、守時日謀歟、此条非無推察、乍去、懇望之一篇、以理致義之所、致開許容、却而垂憐愍、兩城足弱地下人等、成屆者共、私戈(財)雜具一致無意儀(異)、至下(伊豫)須戒被送出之、起去治義も慈悲有道之所作也、右被聞召度之旨候条、申入候所、如此候、恐々謹言、

永祿十一年十二月中旬　宗勝

一〇八　浦家家系

桓武天皇十二代之末平姓

土肥次郎實平

土肥彌太郎遠平

小早川次郎景平

始万壽冠者
實平賀冠者義信源頼義曾孫男也
土肥遠平爲養子景平改土肥
稱小早川

小早川美作守茂平

本庄左衞門大夫　兵衞尉

小早川三郎雅平

雖爲三男爲嫡子

小早川太郎朝平

小早川安藝守宣平

宣平七男

浦　左衞門太郎氏實

浦始祖

安藝國豊田郡浦ノ郷ニ住居
浦氏始祖也

浦　兵部二郎氏行

浦　參河守氏安

浦　參河守淵氏

浦太郎左衞門尉元安

乃美備前守賢勝

始小太郎　入道慶俊
實乃美備前守家氏男也浦元安
爲嗣子賢勝改浦自分之用稱号

乃美兵部丞宗勝

始万菊丸　新四郎
後備前守
天正廿年九月廿三日死六十六歳

乃美備後守景繼始勝吉

始新十郎　孫兵衞
慶長十八年九月十四日死五十二歳

乃美

小早川家文書編年總目次

附錄　浦家文書

浦家文書終

浦備前守元種　始元貞
始新四郎　孫兵衞
慶安元年十一月七日死六十歲

浦孫兵衞就昌　始就定
始新四郎　兵部少輔
元祿六年九月七日死七十歲

浦孫兵衞廣勝　始勝眞
始半十郎　主計　木工
寶永二年十二月七日死五十二歲

浦圖書元敏

一年未詳ノ文書ハ、其時代ヲ推定シ、或ハ人ニ據リ、或ハ類ヲ以テ之ヲ收ム、

一重書具書等ノ中ニ含マレタル文書ハ、便宜上各文書ノ示ス年次ニ再錄ス、

一文書番號ノ上ニ附シタル符號「證」ハ「小早川家證文」、「文」ハ「小早川家文書」、「吉」ハ「拾遺」中ノ「吉川家中寺社文書」、「中」ハ「拾遺」中ノ「中島寬一郎所藏文書」、「什」ハ「小早川家御什書寫」、「系」ハ「小早川家系圖」ヲ略セルモノナリ、

目次

證 五五二 承久三年八月廿一日 關東下知狀寫……二冊 三四二頁
證 二 (貞應二年 月 日) 安藝都宇竹原幷生口島莊官等罪科注進狀寫……一 五四五
證 三 (貞應二年)三月十二日 安藝國巡檢使平盛綱請文寫……一 五四六
證 一 貞應二年六月 日 安藝竹原莊地頭得分注文寫……一 五四三
證 五五三 嘉禎三年十一月十九日 平賀念佛讓狀寫……二 三四二
證 四 嘉禎四年十一月十一日 一條入道太政大臣藤原公經家政所下文寫……一 五四七
證 五 仁治元年閏十月十一日 關東下知狀寫……一 五四八
證 六 仁治元年閏十月十八日 安藝國巡檢使平盛綱書狀寫……一 五五四
證 七 仁治元年十二月三日 六波羅施行狀寫……一 五五五

證　八　仁治四年二月　日　安藝沼田新莊方正檢注目錄寫……一　五五六
證五八八　寬元三年正月十七日　相摸北成田鄉內屋敷田讓狀寫……二　三七一
證五八九　寬元三年正月十七日　安藝沼田新莊內吉名草井黑谷讓狀寫……二　三七二
證　九　寬元三年十一月廿一日　關東下知狀寫……一　五七七
文　九四　寬元四年十一月三日　將軍家頼藤原嗣下文……一　七〇
證四四八　寬元四年十一月三日　將軍家頼藤原嗣下文寫(本文省略)……二　二八六
證　一〇　建長四年十一月　日　安藝沼田本莊方正檢注目錄寫……一　五七八
文　九五　正嘉元年七月六日　關東下知狀……一　七一
證四四九　正嘉元年七月六日　關東下知狀寫(本文省略)……二　二八六
文　五二　正嘉二年七月十九日　小早川本佛茂平讓狀案……一　三五
證二八〇　正嘉二年七月十九日　小早川本佛茂平讓狀案寫(本文省略)……二　一五八
證五一〇　文應元年七月十五日　平季康讓狀寫……二　三一八
文　五三　文永元年三月十二日　將軍家宗尊親王政所下文……一　三六
證二八一　文永元年三月十二日　將軍家宗尊親王政所下文寫(本文省略)……二　一五九

證　一二　文永元年四月廿日　關東御敎書寫……一　五八三
文一一五　文永三年四月九日　關東下知狀……一　九〇
證　一一　文永三年四月九日　關東下知狀寫(本文省略)……一　五八二
證五一一　文永十年十一月十四日　相摸北成田鄉鶴丸內名主京都大番役沙汰奉書寫……二　三一九
文　二九　正應元年十一月廿一日　將軍家惟康親王政所下文……一　一八
證二八二　正應元年十一月廿一日　將軍家惟康親王政所下文寫(本文省略)……二　一五九
證五五四　正應元年十二月五日　深澤禪心有經讓狀寫……二　三四三
文　五四　正應二年二月十六日　小早川定心政景讓狀(寫眞版挿入)……一　三七
　永仁四年十月廿四日　奉行人裏封(寫眞版挿入)……一　三八
證二八三　正應二年二月十六日　永仁四年十月廿四日　小早川定心政景讓狀幷奉行人裏封寫(本文省略)……二　一五九
證五七三　正應二年閏十月九日　關東下知狀寫……二　三六〇
證五五五　永仁二年十月廿七日　關東下知狀寫……二　三四五
證五五六　永仁二年十二月二日　關東下知狀寫……二　三四六

永仁四年十月廿四日　奉行人裏封（正應二年二月十六日小早川定心讓狀中）……一　三八
文　九六　永仁七年四月十日　關東下知狀案……一　七二
證四五〇　永仁七年四月十日　關東下知狀案寫（本文省略）……二　二八七
文　九七　正安元年六月七日　鎌倉番役相論裁許下知狀……一　七二
證四五二　正安元年六月七日　鎌倉番役相論裁許下知狀寫（本文省略）……二　二八七
文　九九　（正安四年）正月十一日　六波羅探題連署狀……一　七五
證四五一　（正安四年）正月十一日　六波羅探題連署狀寫（本文省略）……二　二八七
證五九〇　延慶三年四月七日　新き～む讓狀寫……二　三七三
證　一三　應長元年八月廿四日　六波羅召文御敎書案寫……一　五八三
文　五五　應長二年二月八日　尼如心（小早川政景妻千世鶴）讓狀案……一　三九
證二八四　應長二年二月八日　尼如心（小早川政景妻千世鶴）讓狀案寫（本文省略）……二　一六〇
證　一四　正和三年七月廿一日　六波羅御敎書寫……一　五八四
證　一五　元應元年閏七月廿五日　六波羅御敎書寫……一　五八四
證二八五　元應二年九月廿五日　關東下知狀寫……二　一六〇
文　三　元弘三年五月六日　後醍醐天皇綸旨……一　二
證五一二　元弘三年五月六日　後醍醐天皇綸旨寫（本文省略）……二　三二〇
文　二　元弘三年七月十九日　後醍醐天皇綸旨……一　一
證　一六　元弘三年七月十九日　後醍醐天皇綸旨寫（本文省略）……一　五八五
證　一七　元弘三年七月廿六日　官宣旨案寫……一　五八五
文　九八　元弘三年八月　日　小早川性秋（宗平）申狀……一　七四
證四五三　元弘三年八月廿四日（元弘三年八月廿四日）　小早川性秋（宗平）申狀幷葉室光顯安堵外題……一　七四
證四五三　元弘三年八月廿四日（元弘三年八月廿四日）　小早川性秋（宗平）申狀幷葉室光顯安堵外題寫（本文省略）……二　二八八
文　一　元弘三年十一月十二日　後醍醐天皇綸旨……一　一
證四五四　元弘三年十一月十二日　後醍醐天皇綸旨寫（本文省略）……二　二八八
證二九四　（建武元年九月廿七日）　足利尊氏行幸供奉隨兵次第寫……二　一六八
證二八七　建武二年十一月二日　足利直義御敎書寫……二　一六五
證五五七　建武二年十二月二日　逸見有朝着到狀寫……二　三四七

文　五六　建武三年正月二日　源朝臣某下文案……一　三九
證四四二　建武三年正月二日　源朝臣某下文案寫(本文省略)……二　二八二
證五五八　建武三年正月廿二日　武田信武警固役催促狀寫……二　三四七
文　五八　建武三年二月七日　小早川祐景自筆申狀(寫眞版挿入)……一　四一
　建武三年二月七日　足利尊氏安堵裏書(寫眞版挿入)……一　四一
證二九三　建武三年二月七日　小早川祐景申狀幷足利尊氏安堵裏書寫(本文省略)……二　一六八
證二八八　建武三年二月十五日　足利尊氏御判御敎書寫……二　一六五
證五六〇　建武三年五月七日　逸見有朝軍忠狀寫……二　三四八
證五五九　建武三年五月十日　逸見有朝軍忠狀寫……二　三四七
證五六一　建武三年六月廿五日　逸見有朝軍忠狀寫……二　三四九
吉　一四　建武三年七月一日　小早川氏平軍忠狀寫……二　五一四
證五一三　建武三年七月八日　足利直義御感御敎書寫……二　三二〇
證二八九　建武三年七月十日　足利尊氏御感御敎書寫……二　一六六
證五六二　建武三年七月十四日　逸見大阿讓狀寫……二　三五〇

證五一四　建武三年七月十六日　足利尊氏御感御敎書寫……二　三二〇
證五一五　建武三年七月廿二日　足利尊氏御判御敎書寫……二　三二一
證五六三　建武三年八月十五日　逸見有朝軍忠狀寫……二　三五一
證二八六　(建武三年　月　日？)　小早川景宗本領安堵申狀案寫……二　一六四
證二九〇　建武三年九月六日　中原章有勘文寫……二　一六六
證五六四　建武三年九月廿九日　足利尊氏御感御敎書寫……二　三五二
文　九三　建武三年十月十日　斯波家長奉書……一　七〇
證四五五　建武三年十月十日　斯波家長奉書寫(本文省略)……二　二八八
文　五七　建武三年十一月廿四日　高師直施行狀案……一　四〇
證四四三　建武三年十一月廿四日　高師直施行狀案寫(本文省略)……二　二八二
文　四　建武四年三月十二日　光明天皇口宣案……一　二
證　二〇　建武四年三月十二日　光明天皇口宣案寫(本文省略)……一　五八八
證五一六　建武四年八月十四日　足利直義御敎書寫……二　三二一
文　五九　建武五年正月九日　足利尊氏下文……一　四二
證二九一　建武五年正月九日　足利尊氏下文寫(本文省略)……二　一六七

證二九二　建武五年正月十六日　足利尊氏下文寫……二　一六七
文　六〇　建武五年二月廿四日　小早川景宗自筆讓狀……一　四二
證二九五　建武五年二月廿四日　小早川景宗讓狀寫（本文省略）……二　一七一
文　六一　建武五年二月廿四日　小早川景宗自筆讓狀……一　四三
證四三四　建武五年二月廿四日　小早川景宗讓狀寫（本文省略）……二　二七八
證五六五　建武五年三月廿六日　逸見有朝軍忠狀寫……二　三五二
證五六六　建武五年七月十四日　逸見有朝軍忠狀寫……二　三五三
證五六七　建武五年七月十四日　逸見有朝軍忠狀寫……二　三五四
吉　一六　建武五年八月　日　小早川氏平軍忠狀寫……二　五一六
吉　二〇　曆應二年五月十二日　足利直義御感御教書寫……二　五一九
文一〇〇　曆應二年十月廿三日　致友遵行狀……一　七五
證四五六　曆應二年十月廿三日　致友遵行狀寫（本文省略）……二　二八八
證　一八　（年未詳）三月四日　浦氏實小坂秀遠連署言上狀寫……一　五八六
證　一九　曆應三年四月廿六日　小早川圓照宣平置文寫……一　五八七
文一〇一　曆應三年七月廿二日　左衞門尉貞隆打渡狀……一　七六

證四五七　曆應三年七月廿二日　左衞門尉貞隆打渡狀寫（本文省略）……二　二八九
證　二二　曆應四年十月十日　小早川圓照宣平讓狀寫……一　五八九
證　二一　曆應四年十月十日　小早川圓照宣平父子連署置文寫……一　五八八
證五六八　曆應五年六月十八日　逸見大阿代子息有朝軍忠狀寫……二　三五五
吉　九　康永元年十月廿日　小早川氏平軍忠狀寫……二　五一〇
吉　一九　康永元年十一月　日　小早川氏平言上狀寫……二　五一九
吉　一八　康永元年十一月一日　細川賴春舉狀寫……二　五一八
文　六二　康永四年五月十三日　檢非違使別當宣……一　四四
證二九六　康永四年五月十三日　檢非違使別當宣寫（本文省略）……二　一七一
文　六三　康永四年五月十三日　檢非違使別當宣副狀……一　四四
證二九七　康永四年五月十三日　檢非違使別當宣副狀寫（本文省略）……二　一七二
文一〇二　貞和二年十二月十七日　足利直義安堵下知狀……一　七六
證四五八　貞和二年十二月十七日　足利直義安堵下知狀寫（本文省略）……二　二八九
證五六九　貞和四年二月　日　逸見大阿代子息有朝軍忠狀寫……二　三五七
吉　一五　觀應元年六月十五日　足利尊氏御判御教書寫……二　五一五

證五一七　觀應元年六月十五日　足利尊氏御判御教書寫……二　三二一
證五一八　觀應元年六月十五日　足利尊氏御判御教書寫……二　三二二
證五一九　觀應元年六月十五日　足利尊氏御判御教書寫……二　三二二
證五二〇　觀應元年六月十五日　足利尊氏御判御教書寫……二　三二三
證五二一　觀應元年六月十五日　足利尊氏御判御教書寫……二　三二三
證五二二　觀應元年六月十五日　足利尊氏御判御教書寫……二　三二三
證五二三　觀應元年六月十五日　足利尊氏御判御教書寫……二　三二四
證五七四　觀應元年六月十五日　足利尊氏御判御教書寫……二　三六三
證五七〇　觀應元年七月　日　逸見大阿代子息有朝軍忠狀寫……二　三五七
證四四四　觀應元年八月十七日　伯耆富田莊內天滿鄉一分地頭職諸役免除御教書案寫……二　二八二
文　五　正平六年六月十二日　後村上天皇綸旨……一　三
證　二三　正平六年六月十二日　後村上天皇綸旨寫(本文省略)……一　五九〇
吉　二二　觀應二年八月六日　足利尊氏御判御教書寫……二　五二〇
吉　二四　觀應二年八月廿四日　足利直義御教書寫……二　五二一
證五二四　正平六年九月廿三日　御名未詳宮將軍令旨寫……二　三二四
證五二五　正平六年十二月廿三日　足利義詮下文寫……二　三二五
吉　二三　正平七年閏二月九日　足利尊氏御感御教書寫……二　五二一
證　二四　觀應三年三月九日　足利義詮御判御教書寫……一　五九一
證五二六　觀應三年四月廿七日　足利尊氏御判御教書寫……二　三二五
證二九八　觀應三年五月廿五日　足利義詮御感御教書寫……二　一七二
證四三五　觀應三年五月廿五日　足利義詮御感御教書寫……二　二七八
證二九九　觀應三年九月廿二日　足利義詮下文寫……二　一七二
證五七一　觀應三年十月十三日　足利尊氏御感御教書寫……二　三五九
證三〇〇　文和元年十月十三日　沙彌某施行狀寫……二　一七三
證三〇一　文和元年十月十三日　沙彌某施行狀寫……二　一七三
文　六五　文和元年十一月十五日　足利義詮下文……一　四六
證四三六　文和元年十一月十五日　足利義詮下文寫(本文省略)……二　二七九
證四三七　文和元年十一月十七日　沙彌某施行狀寫……二　二七九
證　二五　文和二年四月廿五日　安藝沼田莊市場禁制寫……一　五九一

證三〇二　文和二年十月廿六日　足利義詮御感御教書寫……二　一七四
證四三八　文和二年十二月十三日　足利義詮御感御教書寫……二　二八〇
證五二七　文和二年十二月十三日　足利義詮御感御教書寫……二　三二六
吉　一七　文和三年六月廿日　足利義詮御感御教書寫……二　五一八
證　二六　文和三年十二月廿九日　足利義詮御判御教書寫……一　五九二
證三〇三　文和三年十二月廿九日　足利義詮御判御教書寫……二　一七四
證四八八　文和三年十二月廿九日　足利義詮御判御教書寫……二　三〇三
吉　二一　文和三年十二月廿九日　足利義詮御判御教書寫……二　五二〇
證四八九　文和三年十二月廿九日　氏名未詳施行狀案寫……二　三〇三
證五七二　文和四年三月十八日　沙彌大圓讓狀寫……二　三五九
證三〇四　文和四年四月廿三日　足利義詮御感御教書寫……二　一七五
證三〇七　文和四年六月廿三日　足利義詮御感御教書寫……二　一七八
證四九〇　文和四年八月廿五日　平賀重宗小早川春平連署渡狀寫……二　三〇四
證五二八　文和四年九月廿六日　足利義詮御感御教書寫……二　三二六
證五二九　文和四年九月廿六日　足利義詮御感御教書寫……二　三二七
證五三〇　文和四年九月廿六日　足利義詮御感御教書寫……二　三二七
證五三一　文和四年九月廿六日　足利義詮御感御教書寫……二　三二七
證五三二　文和四年九月廿六日　足利義詮御感御教書寫……二　三二七
證五三三　文和四年九月廿六日　足利義詮御感御教書寫……二　三二八
證　二七　文和五年二月十七日　足利義詮御判御教書寫……一　五九三
文一一四　（年未詳）六月十四日　細川賴有書狀……一　八九
證四五九　（年未詳）六月十四日　細川賴有書狀寫（本文省略）……二　二八九
證五三四　延文二年八月九日　細川賴之施行狀寫……二　三二九
證三〇五　延文三年八月九日　細川賴之感狀寫……二　一七五
文　六四　正平十三年十月　日　小早川實義安堵申狀……一　四五
證四四〇　正平十三年十月　日　小早川實義安堵申狀寫（本文省略）……二　二八〇
文　六六　延文五年閏四月一日　細川賴之預ヶ狀……一　四六
證四三九　延文五年閏四月一日　細川賴之預ヶ狀（本文省略）……二　二八〇
文　六七　貞治二年三月十八日　小早川實義自筆讓狀……一　四七

證三〇八　貞治二年三月十八日　小早川實義讓狀寫（本文省略）……二　一七八
文　六八　貞治二年六月廿九日　小早川重景自筆讓狀……一　四八
證三〇六　貞治二年六月廿九日　小早川重景讓狀寫……二　一七六
　康曆二年十二月廿七日　足利義滿安堵裏書寫……一七七
證　二八　貞治二年九月十日　足利義詮御判御敎書寫……一　五九三
證三〇九　貞治三年十月廿三日　足利義詮御感御敎書寫……二　一七八
證五三五　貞治三年十月廿三日　足利義詮御感御敎書寫……二　三二九
證四九一　應安元年閏六月廿四日　將軍家（足利義滿）御敎書案寫……二　三〇四
證四九二　應安元年八月廿八日　將軍家（足利義滿）御敎書寫……二　三〇五
證四九三　應安元年十二月廿六日　足利義滿安堵御判御敎書寫……二　三〇六
證四九四　應安元年十二月廿九日　將軍家（足利義滿）御敎書案寫……二　三〇六
證四九五　應安二年六月十七日　將軍家（足利義滿）御敎書案寫……二　三〇七
證四九六　應安三年十一月十四日　細川業氏奉書案寫……二　三〇七
文　三〇　應安四年閏三月十二日　幕府下知狀……一　一九
證　二九　應安四年閏三月十二日　幕府下知狀寫（本文省略）……一　五九三
證四九七　應安六年七月十九日　幕府裁許下知狀案寫……二　三〇八
證五三六　永和元年十二月三日　細川賴之奉書寫……二　三三〇
文　六九　永和五年二月十三日　小早川義春自筆讓狀……一　四九
證三一〇　永和五年二月十三日　小早川義春讓狀寫（本文省略）……二　一七九
證　四三　康曆元年七月　日　大將拜賀帶刀交名寫……一　六〇二
證四九八　康曆元年十月五日　足利義滿下文案寫……二　三一一
證四九九　康曆元年十月十日　管領斯波義將施行狀案寫……二　三一二
　康曆二年十二月廿七日　足利義滿安堵裏書寫（貞治二年六月廿九日小早川重宗讓狀寫中）……二　一七七
吉　五　永德元年二月十日　將軍家（足利義滿）御敎書寫……二　五〇七
證五〇〇　永德元年五月十日　將軍家（足利義滿）御敎書案寫……二　三一二
證　三〇　永德二年三月廿二日　掃部助賴秀書狀寫……一　五九四
證　三一　永德三年七月廿二日　安藝沼田莊領家內半濟所務職契約狀寫……一　五九四
文　七〇　至德元年十一月廿一日　將軍家（足利義滿）御敎書……一　五〇

證三一一　至德元年十一月廿一日　將軍家（足利義滿）御教書寫（本文省略）……二　一七九
證五〇一　至德元年十一月廿八日　將軍家（足利義滿）御教書案寫……二　三一三
證五〇二（至德元年十一月廿八日　將軍家（足利義滿）御教書案寫……二　三一四
證五三七　至德元年十二月廿四日　將軍家（足利義滿）御教書寫……二　三三〇
證三一二　至德二年五月廿七日　安藝沼田新莊分段錢請取狀寫……一　五九五
證三一三　至德二年八月廿五日　安藝沼田駒莊內椹梨段錢請取狀寫……一　五九六
文七一　至德三年三月十日　山名時氏充行狀……一　五〇
證三一二　至德三年三月十日　山名時氏充行狀寫（本文省略）……二　一八〇
證三一三　至德三年三月廿六日　前遠江守某打渡狀寫……二　一八〇
證五三八　至德三年十月廿九日　足利義滿安堵御判御教書案寫……二　三三一
證五三九　至德三年十月廿九日　足利義滿安堵御判御教書寫……二　三三一
證五〇三　康應元年十二月廿六日　足利義滿安堵御判御教書案寫……二　三一四
證五〇四　康應二年二月卅日　管領斯波義將施行狀寫……二　三一五
吉四　康應二年二月卅日　管領斯波義將施行狀寫……二　五〇七

證三四　明德元年十月五日　將軍家（足利義滿）御教書案寫……一　五九七
文一〇三　應永元年三月十一日　椋梨知行支配狀……一　七七
吉八　應永三年二月廿八日　小早川本英（宗平）讓狀寫……二　五〇九
文七七　應永五年五月十三日　小早川仲義自筆讓狀……一　五六
證三一四　應永五年五月十三日　小早川仲義讓狀寫（本文省略）……二　一八〇
證三五　應永五年十月八日　小早川宗順（春平）巨眞寺置文案寫……一　五九七
證三六　應永六年十二月十二日　足利義滿御判御教書案寫……一　五九九
文三一　應永七年正月廿六日　足利義滿安堵御判御教書……一　一九
證三七　應永七年正月廿六日　足利義滿安堵御判御教書寫（本文省略）……一　五九九
文七六　應永七年二月九日　小早川仲好（仲義）自筆讓狀……一　五四
證三一五　應永七年二月九日　小早川仲好（仲義）讓狀寫（本文省略）……二　一八一
證五〇五　應永七年十一月十九日　將軍家（足利義滿）御教書案寫……二　三一五
吉七　應永七年十一月十九日　將軍家（足利義滿）御教書寫……二　五〇八
文三二　應永十一年五月廿八日　足利義滿御判御教書……一　二〇

證三九　應永十一年五月廿八日　足利義滿御判御敎書寫(本文省略)……一　六〇〇
文三三　應永十一年五月卅日　管領畠山德元(基國)施行狀……一　二〇
證三八　應永十一年五月卅日　管領畠山德元(基國)施行狀寫(本文略省)……一　六〇〇
文一二　應永十二年二月廿八日　足利義滿御判御敎書……一　八
證四一　應永十二年二月廿八日　足利義滿御判御敎書寫(本文省略)……一　六〇一
證四〇　應永十二年二月廿八日　小早川則平起請文寫……一　六〇〇
證四二　應永十二年二月廿八日　小早川則平起請文寫(本文省略)……一　六〇二
證三一六　應永十三年三月廿三日　足利義滿安堵御判御敎書案寫……二　一八一
證五〇六　應永十七年十一月十三日　將軍家(足利義持)御敎書案寫……二　三一六
證四四一　應永十八年四月二十四日　小早川義春讓狀寫……二　二八一
吉一　應永十八年八月十七日　將軍家(足利義持)御敎書寫……二　五〇五
文一一三　應永廿年六月十七日　小早川則平自筆讓狀……一　八八
證五二　應永廿年六月十七日　小早川則平讓狀寫(本文省略)……一　六〇九
證五三　應永廿一年四月十一日　小早川常嘉(則平)讓狀寫……一　六〇九
證五四　應永廿一年五月廿四日　足利義持安堵御判御敎書案寫……一　六一二
證四五　應永廿二年二月十日　佛通寺佛殿立柱馬注文寫……一　六〇四
證五七五　應永廿七年八月　日　善善麻讓狀寫……二　三六三
證五七六　應永廿七年八月　日　善善麻讓狀寫……二　三六四
證四六　(年未詳)十月廿六日　足利義持安堵御判御敎書案寫……一　六〇五
證五〇　(年未詳)六月廿　日　足利義持御內書寫……一　六〇八
證三七四　應永廿八年正月　日　公光證狀寫……二　二一六
證五七七　應永廿九年四月廿二日　善善麻女姓某連署讓狀寫……二　三六四
證五七八　(年未詳)四月四日　善善麻置文寫……二　三六五
證五五　應永卅年二月六日　小早川與平契約狀寫……一　六一二
吉六　應永卅年九月廿一日　足利義持安堵御判御敎書寫……二　五〇八
證五〇七　應永卅年九月廿一日　足利義持安堵御判御敎書案寫……二　三一六
證四四　應永卅一年十月　日　佛通寺方丈上棟馬人數注文寫……一　六〇三
文七五　應永卅二年閏六月廿日　山名滿氏預ヶ狀……一　五四
證三一七　應永卅二年閏六月廿日　大內德雄(盛見)預ヶ狀寫……二　一八一

文 七四　應永卅二年九月十六日　足利義持安堵御判御敎書……一　五三
證三三二　應永卅二年九月十六日　足利義持安堵御判御敎書寫(本文省略)……二　一八九
文 七三　應永卅四年十一月十日　小早川弘景自筆讓狀……一　五一
證三三三　應永卅四年十一月十日　小早川弘景讓狀寫(本文省略)……二　一八九
文 七二　應永卅四年十一月十日　小早川弘景自筆讓狀……一　五一
證三三四　應永卅四年十一月十日　小早川弘景讓狀寫(本文省略)……二　一八九
證五四〇　應永三十五年六月吉日　平因幡守道貫讓狀寫……二　三三二
證三三五　(年未詳)正月四日　小早川弘景弓初人役次第案寫……二　一九〇
證三一八　(年未詳)四月廿六日　山名常熙時熙書狀寫……二　一八二
證四二三　(年未詳)九月六日　山名滿氏書狀寫……二　二五九
文 七八　正長二年七月廿日　小早川陽滿弘景自筆讓狀……一　五八
證三三六　正長二年七月廿日　小早川陽滿弘景讓狀寫(本文省略)……二　一九〇
證三三七　(年未詳)八月十九日　小早川陽滿弘景書狀寫……二　一九一
文 八〇　永享元年十月廿八日　足利義持安堵御判御敎書寫……一　六〇
證三三八　永享元年十月廿八日　足利義敎安堵御判御敎書寫(本文省略)……二　一九二
文 七九　永享元年十一月八日　山名常熙時熙施行狀……一　六〇
證三三九　永享元年十一月八日　山名常熙時熙施行狀寫本(文省略)……二　一九三
證五四一　永享二年十二月十八日　小早川道就知行分注進狀寫……二　三三三
證五四二　永享二年十二月　日　和木小早川範平知行分注進狀寫……二　三三四
文一〇四　永享三年二月十日　上山景高契約狀……一　七八
文一〇五　永享三年二月十日　大草持範契約狀……一　七九
文一〇六　永享三年二月十日　和木範平契約狀……一　八〇
證三二一　(永享三年)七月八日　細川持之感狀寫……二　一八三
證三二三　(永享三年)七月十六日　足利義敎御內書寫……二　一八四
證三二二　(永享三年)七月十六日　細川持賢感狀寫……二　一八四
證　五七　(永享三年?)七月廿六日　小早川常建即平書狀寫……二　一
證　四七　(永享四年)二月九日　山名常熙時熙書狀寫……一　六〇六
證三一九　(永享四年?)五月十二日　足利義敎御內書寫……二　一八二

證三二〇　(年未詳)六月廿九日　細川持之書狀寫……二　一八三
證　四八　(永享四年)十一月六日　幕府奉行連署奉書寫……一　六〇七
證　四九　(永享四年)十一月十六日　足利義敎御內書寫……一　六〇八
證三四〇　永享四年十二月十五日　陽因置文寫……二　一九三
證　五八　(永享五年)三月十八日　琴江令薰(小早川氏)書狀寫……二　二
文　三四　永享五年三月廿一日　琴江令薰(小早川氏)自筆起請文……一　二一
證　五九　永享五年三月廿一日　琴江令薰(小早川氏)起請文寫(本文省略)……二　三
證　六〇　永享五年四月廿日　小早川凞平申狀案寫……二　三
證　六一　永享五年五月　日　小早川凞平申狀案寫……二　四
證　六二　永享五年六月　日　小早川氏知行現得分注文寫……二　五
文　一三　永享五年八月六日　足利義敎安堵御判御敎書……一　八
證五四三　永享五年八月六日　足利義敎安堵御判御敎書寫(本文省略)……二　三三五
吉　三　永享五年八月六日　足利義敎安堵御判御敎書寫……二　五〇六
證　六三　永享五年八月七日　安藝沼田莊時貞名現田數年貢等注文寫……二　六
文　二二　永享六年九月廿六日　將軍家(足利義敎)御敎書……一　一三
證　六四　永享六年九月廿六日　將軍家(足利義敎)御敎書寫(本文省略)……二　八
文　一四　(永享六年)九月廿九日　足利義敎御內書……一　九
證　六五　(永享六年)九月廿九日　足利義敎御內書寫(本文省略)……二　八
文　二三　永享七年十一月十九日　將軍家(足利義敎)御敎書……一　一四
證　六六　永享七年十一月十九日　足利義敎御內書寫(本文省略)……二　八
證三四一　永享八年五月四日　將軍家(足利義敎)御敎書寫(本文省略)……二　九
證三四二　永享八年七月四日　細川持賢感狀寫……二　一九三
文　二四　永享八年七月五日　將軍家(足利義敎)御敎書……一　一四
證　六七　永享八年七月五日　將軍家(足利義敎)御敎書寫(本文省略)……二　九
證三四三　永享八年七月五日　足利義敎御內書寫……二　一九四
證三四四　(永享八年)七月八日　細川持之感狀寫……二　一九五
文　二八　永享八年八月廿七日　幕府奉行連署奉書……一　一六
證　六八　永享八年八月廿七日　幕府奉行連署奉書寫(本文省略)……二　九

文一〇七　永享八年十月三日　近宗清平起請文……一　八一
證　六九　（明德三年八月廿七日／應永十四年七月十九日／永享九年十月廿一日）　小早川持平供奉行列抄書寫……二　一〇
證三二四　永享十年三月四日　將軍家（足利義教）御教書寫……二　一八五
證三二五　（永享十年）五月二日　飯尾貞連書狀寫……二　一八五
證三二六　（永享十年）五月三日　細川持賢感狀寫……二　一八六
證三二七　永享十年五月七日　足利義教御內書寫……二　一八六
證三二八　（永享十年？）八月廿日　細川持賢書狀寫……二　一八七
證三二九　（永享十年）八月廿九日　細川持賢感狀寫……二　一八七
證三三〇　永享十年九月五日　將軍家（足利義教）御教書寫……二　一八八
證三四五　永享十年九月廿九日　足利義教安堵御判御教書案寫……二　一九五
證　五六　（永享十二年）六月九日　足利義教御內書寫……一　六一三
證三三一　永享十二年六月九日　足利義教御內書寫……二　一八八
文　三五　永享十二年六月廿七日　足利義教御判御教書……一　二二
證　七〇　永享十二年六月廿七日　足利義教安堵御判御教書寫（本文省略）……二　二一
文　一六　永享十二年七月六日　管領細川持之施行狀……一　一〇
證　七三　永享十二年七月六日　管領細川持之施行狀寫（本文省略）……二　一二
文一五　永享十二年七月六日　管領細川持之施行狀……一　九
證　七一　永享十二年七月六日　管領細川持之施行狀寫（本文省略）……二　一一
證　七二　永享十二年七月六日　管領細川持之施行狀寫（本文省略）……二　一一
文　三六　永享十二年七月六日　管領細川持之施行狀……一　一二
證　七四　永享十二年七月六日　管領細川持之施行狀寫（本文省略）……二　一二
文　一七　永享十二年八月六日　山名持豐遵行狀……一　一一
證　七六　永享十二年八月六日　山名持豐遵行狀寫（本文省略）……二　一三
證　七五　永享十二年八月六日　山名持豐遵行狀案寫……二　一二
文　八二　嘉吉元年三月十六日　足利義教御判御教書……一　六三
證三四六　嘉吉元年三月十六日　足利義教御判御教書寫（本文省略）……二　一九六
文　八一　嘉吉元年三月十六日　幕府奉行連署奉書案……一　六一
證三四七　嘉吉元年三月十六日　幕府奉行連署奉書案寫（本文省略）……二　一九六
文　二五　嘉吉元年七月四日　將軍家（足利義勝）御教書……一　一五

證　七七　嘉吉元年七月四日　將軍家（足利義勝）御敎書寫（本文省略）……二　一三
證　三四八　嘉吉元年七月四日　將軍家（足利義勝）御敎書寫……二　一九七
文　二七　（嘉吉元年）九月十四日　細川持之書狀……一　一六
證　七八　（嘉吉元年）九月十四日　細川持之書狀寫（本文省略）……二　一三
證　三四九　嘉吉元年九月十四日　細川持之書狀寫……二　一九七
證　三五〇　（嘉吉元年）九月十四日　細川持賢書狀寫……二　一九七
文　二六　嘉吉元年九月廿六日　將軍家（足別勝）御敎書……一　一六
證　七九　嘉吉元年九月廿六日　將軍家（足利義勝）御敎書寫（本文省略）……二　一四
證　五四四　嘉吉二年四月廿六日　小早川持平去狀寫……二　三三五
證　八〇　（嘉吉二年）十月廿三日　琴江令薰（小早川氏）書狀寫……二　一四
文　三七　嘉吉二年十月廿六日　幕府下知狀……一　二三
證　八一　嘉吉二年十月廿六日　幕府下知狀寫（本文省略）……二　一四
文　一九　嘉吉二年十月廿九日　管領畠山德本（持國）施行狀……一　一二
證　八二　嘉吉二年十月廿九日　管領畠山德本（持國）施行狀寫（本文省略）……二　一五
文　一八　嘉吉二年十月廿九日　管領畠山德本（持國）施行狀……一　一二
證　八三　嘉吉二年十月廿九日　管領畠山德本（持國）施行狀寫（本文省略）……二　一五
文　二〇　嘉吉二年十月廿九日　管領畠山德本（持國）施行狀……一　一二
證　八四　嘉吉二年十月廿九日　管領畠山德本（持國）施行狀寫（本文省略）……二　一五
文　二一　嘉吉二年十一月四日　山名宗峯（持豐）遵行狀……一　一三
證　八五　嘉吉二年十一月四日　山名宗峯（持豐）遵行狀寫（本文省略）……二　一六
證　四六〇　嘉吉二年十一月十六日　小早川家庶子等連署契約狀寫……二　二九〇
證　八六　（嘉吉二年）十一月廿七日　山名宗峯（持豐）書狀寫……二　一六
證　八七　嘉吉二年十二月十九日　將軍家（足利義勝）御敎書寫……二　一六
證　八八　（嘉吉二年）十二月廿三日　山名宗峯（持豐）書狀寫……二　一七
證　三五一　嘉吉三年八月十二日　小早川陽滿（弘景）置文寫……二　一九八
證　八九　文安元年四月五日　將軍家（足利義政）御敎書寫……二　一八
文　七　文安元年五月三日　後花園天皇口宣案……一　四

證九〇　文安元年五月三日　後花園天皇口宣案寫(本文省略)……二　一八
證九一　文安元年八月廿三日　幕府奉行連署奉書寫……二　一八
文一七二　(年月日未詳)　小早川氏一族知行分注文……一　一七二
證五一　(年月日未詳)　小早川氏一族知行分注文寫本文省略)……一　六〇九
證九二　(年未詳)八月廿五日　飯尾性通貞連書狀寫……二　一九
證九三　(年未詳)二月六日　飯尾任連松田貞康連署狀寫……二　一九
證九四　(年未詳)十一月十日　幕府奉行連署奉書寫……二　二〇
證三五二　文安元年八月廿五日　幕府奉行連署奉書寫……二　二〇
證三五三　文安二年九月廿三日　幕府奉行連署奉書寫……二　二〇二
證九六　文安二年十一月廿四日　鴨社領安藝都宇竹原兩莊領家代官職補任狀寫……二　二〇二
證九五　文安二年十一月廿四日　將軍家足利義政御教書寫……二　二一
證五〇八　文安二年十二月十五日　安藝沼田郡役夫工米事書寫……二　二一
證四六一　文安三年六月　日　幕府安堵下知狀案寫……二　三一七
證五〇九　文安三年十二月十五日　幕府安堵下知狀案寫……二　三一七
證九七　文安四年八月　日　佛通寺佛殿上棟馬人數注文寫……二　二二
證九八　文安五年十二月三日　領家納入公用目安寫……二　二三
文六　文安六年四月廿九日　後花園天皇口宣案……一　三
證九九　文安六年四月廿九日　後花園天皇口宣案寫(本文省略)……二　二五
證一〇〇　文安六年四月廿九日　經繁奉書寫……二　二六
證三七〇　文安六年六月一日　大內教弘加冠狀寫……二　二一四
證一〇一　寶德元年八月廿八日　小早川凞平申狀案寫……二　二六
文八五　寶德二年正月廿九日　小早川盛景自筆讓狀……一　六四
證三七一　寶德二年正月廿九日　小早川盛景讓狀寫(本文省略)……二　二一五
證三五六　寶德二年八月十九日　將軍家足利義政御教書寫……二　二〇三
文八四　寶德二年八月廿四日　幕府安堵下知狀……一　六四
證三七二　寶德二年八月廿四日　幕府安堵下知狀寫(本文省略)……二　二一五
證三五四　(年未詳)二月十一日　河野通春書狀寫……二　二〇三
證三五五　寶德二年九月二日　將軍家足利義政御教書寫……二　二〇三

證三五七　(寶德三年?)二月廿三日　河野敎通(通直)書狀寫……二　二〇四
證三五九　寶德三年四月十一日　將軍家(足利義政)御敎書寫……二　二〇五
證三六一　(寶德三年)六月廿六日　氏名未詳書狀案寫……二　二〇六
證三六〇　(寶德三年)六月　日　氏名未詳書狀案寫……二　二〇六
證三六三　(寶德三年?)七月十六日　河野敎通(通直)書狀寫……二　二〇八
證三六二　(寶德三年)七月十八日　畠山德本(持國)感狀寫……二　二〇七
證五七九　寶德三年七月　日　小早川凞位讓狀寫……二　三六五
證五八〇　寶德三年七月　日　小早川凞位讓狀寫……二　三六六
證三六四　(寶德三年?)八月十九日　重見通實書狀寫……二　二〇八
文一〇九　寶德三年九月吉日　小早川本莊新莊一家中連判契
約狀(寫眞版挿入)……一　八三
證一〇二　寶德三年九月吉日　小早川本莊新莊一家中連判契
約狀寫(本文省略)……二　二七
證三五八　(寶德四年?)三月三日　畠山德本(持國)書狀寫……二　二〇四
證三六八　享德元年)閏八月廿四日　平賀弘宗小早川盛景等注進狀

證一〇三　享德元年十月十九日　幕府奉行連署奉書寫……二　二一〇
吉　二　享德二年四月十九日　細川勝元安堵狀寫……二　二七
文　八六　享德三年十月五日　小早川盛景自筆讓狀……一　六六
證三七三　享德三年十月五日　小早川盛景讓狀寫(本文省略)……二　二一五
證一〇四　享德三年十二月八日　將軍家(足利義政)御敎書寫……二　二八
證一〇五　享德三年十二月十一日　細川勝元書狀寫……二　二八
證一〇六　享德四年七月十日　小早川盛景契狀寫……二　二九
證一〇七　(享德四年七月　日)　小早川凞平契狀案寫……二　三〇
證一〇八　(年未詳)十一月十三日　小早川陽元(盛景)書狀寫……二　三〇
證一〇九　(年未詳)十二月二日　小早川陽元(盛景)書狀寫……二　三一
證一一〇　(年未詳)十二月三日　小早川陽元(盛景)書狀寫……二　三二
證一一一　(年未詳)正月十九日　小早川弘景書狀寫……二　三四
證一一二　(年未詳)三月廿三日　小早川弘景書狀寫……二　三四
證一一三　(年未詳)八月廿二日　小早川弘景書狀寫……二　三五

證一一四　(年未詳)十二月廿九日　小早川弘景書狀寫……二　三六
證一一五　(年未詳)十二月廿九日　小早川弘景書狀寫……二　三七
證三六九　(年　月　日　未　詳)　竹原小早川家親類等在京番立定……二　二一一
證一一六　享德四年八月十五日　將軍家(足利義政)御敎書寫……二　三八
證一一七　康正　元　年十月廿日　幕府奉行連署奉書寫……二　三八
文　三八　康正元年十二月廿七日　足利義政安堵御判御敎書……一　二四
證一八四　康正元年十二月廿七日　足利義政安堵御判御敎書寫(本文省略)……二　七八
文　四〇　康正元年十二月廿九日　小早川凞平自筆讓狀……一　二六
證一八五　康正元年十二月廿九日　小早川凞平讓狀寫(本文省略)……二　七八
文　三九　康正元年十二月廿九日　小早川凞平自筆所領目錄……一　二四
證一八六　康正元年十二月廿九日　小早川凞平所領目錄寫(本文省略)……二　七九
證一一八　康正元年十二月廿九日　將軍家(足利義政)御敎書寫……二　三九
文　四一　康正二年十二月廿日　幕府奉行連署奉書……一　二六

證一一九　康正二年十二月廿日　幕府奉行連署奉書寫(本文省略)……二　三九
證一二〇　長祿三年十月十日　幕府奉行連署奉書寫……二　四〇
證一二一　長祿三年十月十日　幕府奉行連署奉書寫……二　四〇
證五四五　長祿三年十月十七日　幕府奉行連署過書寫……二　三三六
文　八七　長祿四年九月卅日　內宮役夫工米皆濟狀……一　六六
證三六五　長祿四年九月卅日　內宮役夫工米皆濟狀寫……二　二〇九
證一一三　寬正二年四月廿九日　將軍家(足利義政)御敎書寫……二　四一
證一二三　(年　未　詳)六月五日　事書寫……二　四一
文　四二　寬正二年五月十八日　足利義政安堵御判御敎書……一　二七
證一二四　寬正二年五月十八日　足利義政安堵御判御敎書寫(本文省略)……二　四二
證一二五　寬正二年六月二日　家久證狀寫……二　四三
證一二九　寬正二年六月九日　安藝東西條事書寫……二　四五
證一三〇　寬正二年六月廿九日　幕府奉行連署奉書寫……二　四六
證一三一　(年　未　詳)八月十一日　伊勢貞親書狀寫……二　四六

證一二六　寛正二年七月五日　幕府奉行連署奉書寫……二　四三
證一二七　寛正二年七月六日　幕府奉行連署奉書寫……二　四四
證一二八　寛正二年七月廿四日　幕府奉行連署奉書案寫……二　四四
證一三二　(寛正二、三年？)十月九日　伊勢貞親奉書寫……二　四七
文一〇八　寛正二年十月　日　小早川家中使節役錢支配狀……一　八二
證一三三　寛正二年十月　日　小早川家中使節役錢支配狀寫
(本文省略)……二　四八
文一一〇　寛正二年十月十六日　眞田弘康奉書……一　八六
證四六四　寛正二年十月十六日　眞田弘康奉書寫(本文省略)……二　二九五
證一三四　(年未詳)十二月廿日　細川勝元感狀寫……二　四八
證三六六　寛正四年四月十日　足利義政御內書寫……二　二〇九
證三六七　寛正四年十二月十七日　足利義政安堵御判御敎書寫……二　二一〇
證一八一　(年未詳)四月廿九日　細川勝元書狀寫……二　七五
證一八三　(年未詳)十一月廿五日　細川勝元書狀寫……二　七七
證一八〇　(年未詳)十二月十九日　細川勝元書狀寫……二　七五
證一三五　寛正六年三月四日　佛通寺塔立柱馬人數注文寫……二　四八
證一三六　寛正六年六月廿五日　將軍家(足利義政)御敎書寫……二　五一
證一三七　(寛正六年？)八月廿三日　細川勝元書狀寫……二　五二
證一三八　(寛正六年)九月廿七日　細川勝元書狀寫……二　五二
證一三九　(寛正六年)十月廿二日　細川勝元感狀寫……二　五三
證一四〇　寛正六年十月廿六日　將軍家(足利義政)御敎書寫……二　五四
證一四一　(寛正六年)十一月廿一日　細川勝元書狀寫……二　五四
文　四三　寛正六年十二月七日　足利義政安堵御判御敎書……一　二七
證一八七　寛正六年十二月七日　足利義政安堵御判御敎書寫(本文省略)……二　七九
證一四二　文正元年三月六日　幕府奉行連署奉書寫……二　五五
證一八二　(文正元年)三月十一日　細川勝元書狀寫……二　七六
證一七九　(文正二年？)三月七日　細川勝元書狀寫……二　七四
證一四三　應仁元年三月十四日　幕府奉行連署奉書寫……二　五五
證一四四　應仁元年三月十五日　大嘗會大奉幣米段錢請取狀寫……二　五六

證一四五　應仁元年四月十五日　大嘗會大奉幣米段錢請取狀寫……二　五七
證一四六（應仁元年）六月廿六日　細川勝元書狀寫……二　五七
證一四七　應仁元年九月七日　細川勝元一見狀寫……二　五八
文　九〇　應仁元年十月二日　幕府奉行連署奉書……一　六八
證一四八　應仁元年十月二日　幕府奉行連署奉書寫（本文省略）……二　五八
文　八九　應仁元年十月二日　幕府奉行連署奉書……一　六七
證一四九　應仁元年十月二日　幕府奉行連署奉書寫（本文省略）……二　五九
證一五〇　應仁元年十月七日　幕府奉行連署奉書寫……二　五九
證一五一　應仁元年十二月廿九日　幕府奉行連署奉書寫……二　五九
文　四四　應仁二年三月十七日　幕府奉行連署奉書……一　二八
證一五二　應仁二年三月十七日　幕府奉行連署奉書寫（本文省略）……二　六〇
證一五三　應仁二年三月十七日　細川勝元一見狀寫……二　六〇
證一五四　應仁二年三月廿日　細川勝元感狀寫……二　六二
證一五七（應仁二年）三月廿日　足利義政御內書寫……二　六三
諱一五五　應仁二年三月廿日　細川勝元感狀寫……二　六二
證一五六（應仁二年）三月廿日　細川勝元感狀寫……二　六三
文　八八　應仁二年四月二日　足利義政御判御教書……一　六七
證一五八　應仁二年四月二日　足利義政御判御教書寫（本文省略）……二　六四
證一五九　應仁二年十月三日　幕府奉行連署一見狀寫……二　六四
證一八八　應仁二年十月四日　將軍家（足利義政）御教書寫……二　七九
證一六〇（應仁三年）二月廿四日　細川勝元感狀寫……二　六五
證一六一　應仁三年二月廿七日　將軍家（足利義政）御教書寫……二　六六
證二九八（年未詳）十一月十九日　大內道頓（教幸）書狀寫……二　二三四
證一六二　文明二年三月廿七日　幕府奉行連署奉書寫……二　六六
證一六三（文明二年）四月二日　伊勢貞親添狀寫……二　六七
文　四五　文明二年十月廿九日　足利義政安堵御判御教書……一　二九
證一六四　文明二年十月廿九日　足利義政安堵御判御教書寫（本文省略）……二　六八
文　四六　文明二年十一月七日　幕府奉行連署奉書……一　二九

證一六五　文明二年十一月七日　幕府奉行連署奉書寫(本文省略)……二　六八
證一六六　文明二年十一月七日　幕府奉行連署奉書寫……二　六八
證一六七　文明三年正月卅日　足利義政御內書寫……二　六九
證一六八　(文明三年)正月卅日　細川勝元添狀寫……二　六九
文一一九　文明三年四月廿八日　將軍家(足利義政)御敎書……一　一〇二
證四六二　文明三年四月廿八日　將軍家(足利義政)御敎書寫(本文省略)……二　二九四
證一七三　(文明三年)五月十六日　足利義政御內書寫……二　七一
證一六九　(文明三年)閏八月十九日　足利義政御內書寫……二　七〇
證一七〇　(文明三年)閏八月十九日　細川勝元感狀寫……二　七〇
證一七一　文明三年閏八月廿七日　足利義政御內書寫……二　七〇
證一七二　(文明三年)閏八月廿七日　細川勝元添狀寫……二　七一
證一七八　(年未詳)三月廿八日　細川勝元書狀寫……二　七四
證五五一　(年未詳)四月五日　細川勝元書狀寫……二　三四一
證一七四　(年未詳)四月十三日　足利義政御內書寫……二　七二
證一七五　(年未詳)四月十三日　細川勝元感狀寫……二　七二
證一七六　(年未詳)九月十八日　細川勝元感狀寫……二　七三
證一七七　(年未詳)九月廿三日　細川勝元感狀寫……二　七三
證五九三　(年未詳)九月廿九日　小早川熙平書狀寫……二　三七六
文一三七　(年未詳)十二月五日　小早川熙平自筆書狀……一　一三三
證一八九　文明四年二月卅日　足利義政御內書寫……二　八〇
文　八三　(文明五年?)正月廿六日　足利義視御內書……一　六三
證三七五　(文明五年?)正月廿六日　足利義視御內書寫(本文省略)……二　二一六
證三七六　(文明五年?)正月廿六日　伊勢貞藤奉書寫……二　二一六
證三七七　(文明五年?)正月廿六日　伊勢貞藤書狀寫……二　二一七
證三七八　(文明五年?)正月廿六日　大內政弘書狀寫……二　二一八
證三七九　(文明五年?)二月十日　大內政弘書狀寫……二　二一九
證三八一　(文明五年?)二月十日　全敎書狀寫……二　二二三
證三八〇　(文明五年?)二月十三日　全敎書狀寫……二　二一九
證三八二　(年未詳)二月卅日　山名宗峯(持豐)感狀寫……二　二二四
證三八三　(年未詳)五月三日　犬橋滿泰書狀寫……二　二二五

證三八四　（年未詳）七月十三日　山名宗峯（持豐）書狀寫……二　二一六
證三八五　（年未詳）三月三日　大內政弘書狀寫……二　二一六
證三八六　（年未詳）三月八日　足利義視御內書寫……二　二一六
證三九二　（年未詳）十月四日　大內政弘書狀寫……二　二三〇
證五九一　文明五年八月廿二日　小笠原元長書狀寫……二　三七四
證一九〇　文明五年十一月七日　幕府奉行連署奉書寫……二　八〇
證一九一　文明五年十一月七日　幕府奉行連署奉書寫……二　八一
文　一〇　文明五年□月廿八日　後土御門天皇口宣案……一　六
證一九二　文明五年□月廿八日　後土御門天皇口宣案寫（本文省略）……二　八一
證一九五　（年未詳）正月十三日　細川政國書狀寫……二　八三
證一九六　（年未詳）正月十七日　伊勢貞宗書狀寫……二　八三
證三八七　（文明六年）四月二日　足利義視御內書寫……二　二一七
證三八八　（文明六年）四月二日　大內政弘書狀寫……二　二一七
證三八九　（年未詳）六月三日　足利義視御內書寫……二　二一八
證二〇七　（文明六年）十二月十八日　足利義政御內書寫……二　九三
證二〇八　（文明六年）十二月十八日　伊勢貞宗添狀寫……二　九三
證二〇九　（文明六年）十二月十八日　足利義政御內書寫……二　九四
證二一〇　（文明六年）十二月十八日　伊勢貞宗添狀寫……二　九四
證一九三　文明七年正月十三日　細川政國書狀寫……二　八二
證一九四　（文明七年）正月十三日　細川政國書狀寫……二　八二
證一九七　文明七年三月九日　小早川元平被官人等合戰注文寫……二　八四
證一九八　（文明七年）三月廿一日　畠山政長書狀寫……二　八六
證一九九　（文明七年）三月廿八日　伊勢貞宗奉書寫……二　八七
證二〇〇　（文明七年）四月二日　細川政國軍勢催促狀寫……二　八七
證二〇一　（文明七年）四月四日　遊佐長直書狀寫……二　八八
證二〇二　（文明七年）四月十一日　小早川元平（敬平）書狀案寫……二　八八
證二〇三　文明七年四月十七日　幕府奉行連署奉書寫……二　八九
證二〇四　（文明七年）四月廿三日　政信盛忠連署狀寫……二　九〇
證二〇五　（文明七年月日？）　高山城開陣時證狀覺書寫……二　九一

證二〇六　文明七年五月二日　氏名未詳書狀寫……二　九一
文一三八　文明七年十月八日　小早川元平敬書狀案……一　一三三
證四六三　文明七年十月八日　小早川元平敬書狀案寫(本文省略)……二　二九四
證三九〇　(年未詳)七月十日　小早川元平敬書狀寫……二　二二八
證四二四　(年　月　日未詳)　正月祝儀例書寫……二　二六〇
證三九一　(年未詳)九月廿三日　細川道賢持賢書狀寫……二　二二九
證三九三　(年未詳)十二月廿三日　細川道賢持賢書狀寫……二　二三〇
證三九四　(年未詳)十二月廿三日　大內政弘書狀寫……二　二三一
證三九五　(年未詳)正月十九日　山名政豐書狀寫……二　二三一
證三九六　(年未詳)三月六日　大內政弘書狀案寫……二　二三二
　(年未詳)十一月三日　小早川弘景裏判寫……二　二三二
證三九七　(年未詳)四月十二日　仁保弘有杉重隆連署狀寫……二　二三三
證三九九　(年未詳)十二月廿五日　大內政弘書狀寫……二　二三四
證四〇〇　(年未詳)三月二日　陶弘護書狀寫……二　二三五
證四〇七　(年未詳)十一月二日　小早川弘景書狀寫……二　二五〇
證四〇一　(年未詳)十月二日　小早川弘景置文寫……二　二三五
證四〇二　(年未詳)十二月卅日　伊勢貞宗書狀寫……二　二四八
文五一八　(年未詳)正月十日　小笠原宗長元長書狀……一　五〇四
文五一九　(年未詳)正月廿三日　小笠原宗長元長書狀……一　五〇五
文五二〇　(年未詳)三月七日　小笠原宗長元長書狀……一　五〇七
文五一五　(年未詳)九月十一日　小笠原宗長元長書狀……一　五〇二
文五一六　(年　月　日未詳)　小笠原宗長元長覺書……一　五〇三
文五一七　(年　月　日未詳)　小笠原宗長元長覺書……一　五〇四
文五二四　(年未詳)二月十二日　江口與鄉書狀……一　五一一
文五二三　(年未詳)二月廿一日　江口與鄉書狀……一　五一〇
文五二五　(年未詳)二月廿二日　江口與鄉書狀……一　五一二
文五二六　(年未詳)二月　日　江口與鄉書狀……一　五一三
文五二八　(年未詳)三月六日　江口與鄉書狀……一　五一五
文五二一　(年未詳)九月八日　江口與鄉書狀……一　五〇九
文五二二　(年未詳)九月十日　江口與鄉書狀……一　五〇九

文五二七　年未詳□月廿三日　江口與鄉書狀……一　五一四
證二二一　（年未詳）十月十四日　細川政國感狀寫……二　九五
證二二二　文明十二年七月廿三日　幕府奉行連署奉書寫……二　九五
證五四六　文明十二年十二月十一日　足利義尙安堵御判御敎書寫……二　三三六
證二二三　文明十三年八月　日　七條大宮地子注文……二　九六
文　九　文明十四年八月十一日　後土御門天皇口宣案……一　五
證二一六　文明十四年八月十一日　後土御門天皇口宣案寫（本文省略）……二　九九
文　四七　文明十五年六月廿四日　幕府奉行連署奉書……一　三〇
證二一七　文明十五年六月廿四日　幕府奉行連署奉書寫（本文省略）……二　九九
文五三六　（年未詳）十一月七日　小早川元平（敬平）自筆書狀……一　五二八
證二一八　文明十七年四月廿七日　小串行實請狀寫……二　九九
證四〇三　文明十七年十二月十五日　法橋長秀要脚請取狀案寫……二　二四八
證四〇四　文明十七年十二月十五日　常松玄俊料足請取狀寫……二　二四九
證四〇五　文明十七年十二月十五日　法橋長秀要脚請取狀寫……二　二五〇
文　八　文明十八年二月廿三日　後土御門天皇口宣案……一　五

證四〇六　文明十八年二月廿三日　後土御門天皇口宣案寫（本文省略）……二　二五〇
證二一九　文明十八年七月廿一日　秋庭元重書狀寫……二　一〇〇
證二二〇　文明十九年八月二日　繼目安堵御判禮錢以下支配狀寫……二　一〇〇
證二二一　長享元年十一月廿八日　幕府奉行連署奉書寫……二　一一七
證五八七　（長享元年？）閏十一月九日　藥師寺元長書狀寫……二　三七一
證二二三　長享二年三月五日　安藝沼田莊地檢奉行連署起請文寫……二　一一七
證二二三　長享二年三月六日　安藝沼田莊地檢奉行連署契約狀寫……二　一一九
證二二四　（年未詳）三月十七日　小早川家庶子等連署狀寫……二　一二一
證五八一　延德二年十二月廿四日　幕府奉行連署奉書寫……二　三六七
證五八二　（年未詳）十月十三日　彥部松壽丸請文寫……二　三六八
證二二五　（延德三年）四月廿七日　土岐尙直奉書寫……二　一二二
文　四九　延德三年八月六日　小早川敬平自筆讓狀……一　三二

證二四三　延德三年八月六日　小早川敬平讓狀寫(本文省略)……二　一三四
文　四八　延德三年八月六日　小早川敬平自筆所領目錄……一　三〇
證二四四　延德三年八月六日　小早川敬平所領目錄寫(本文省略)……二　一三四
證二二六　延德三年八月卅日　園城寺陣屬次第書……二　一二二
證五八三　延德三年十二月廿三日　幕府奉行連署奉書寫……二　三六八
證五八四　延德三年十二月廿三日　幕府奉行連署奉書寫……二　三六九
文　五〇　延德四年四月十一日　足利義材(義稙)安堵御判御教書……一　三三
證二四五　延德四年四月十一日　足利義材(義稙)安堵御判御教書寫(本文省略)……二　一三五
證二四六　(年月日未詳)　安藝沼田莊同乃美鄉伊豫大島等文書目錄寫……二　一三五
證二一四　(年未詳)六月十九日　乃美是景書狀寫……二　九七
證二一五　(年未詳)十二月十三日　兵部少輔元有書狀寫……二　九八
證二二七　延德四年四月廿四日　小田元範契狀寫……二　一二三
證二二八　(年未詳)六月十三日　山名俊豐書狀寫……二　一二四
證二二九　明應元年九月廿六日　幕府奉行連署奉書寫……二　一二五
證二三〇　(明應二年)閏四月四日　內藤弘矩奉書寫……二　一二五
證二三一　(明應二年)閏四月四日　內藤弘矩書狀寫……二　一二六
證二三二　(明應二年)閏四月十二日　內藤弘矩書狀寫……二　一二七
證二三三　明應二年閏四月十六日　小早川敬平請文寫……二　一二八
證二三四　明應二年閏四月十六日　稻荷三社惣官御殿預連署證狀寫……二　一二八
證二三五　(明應二年)閏四月廿日　僧等璨奉書寫……二　一二九
證二三六　明應三年正月十九日　小泉元氏契狀寫……二　一三〇
文　五一　明應三年三月廿三日　幕府奉行連署奉書……一　三三
證二三七　明應三年三月廿三日　幕府奉行連署奉書寫(本文省略)……二　一三〇
證二三八　明應三年三月廿三日　幕府奉行連署奉書寫……二　一三一
證二三九　明應四年七月廿八日　足利義材(義稙)御判御教書案寫……二　一三一
證四〇八　明應四年十月一日　小早川弘平書狀寫……二　二五一
證二四〇　明應四年十一月十二日　杉武明手日記寫……二　一三二

證二四一　(明應四年)十一月十八日　杉武明契狀寫……二　一三三
證二四二　(明應四年?)十一月廿九日　重通書狀寫……二　一三三
證二四七　明應九年三月十六日　武田元信書狀寫……二　一三六
證二四八　(文龜元年)八月十日　足利義高(義澄)御內書寫……二　一三六
證二四九　(文龜元年)八月十日　細川政元書狀寫……二　一三七
證二五〇　(文龜元年)八月十日　秋庭元重奉書寫……二　一三七
證二五一　(文龜元年)八月廿日　秋庭元重書狀寫……二　一三八
證二五二　(文龜元年)九月十日　足立守祐書狀寫……二　一三八
文　一一　文龜二年五月十日　後柏原天皇口宣案……一　七
證二五四　文龜二年五月十日　後柏原天皇口宣案寫(本文省略)……二　一四〇
證二五六　(文龜二年)六月十四日　飯川國資僧慧通(泰甫)連署奉書寫……二　一四二
證二五七　(文龜二年)六月十四日　僧慧通(泰甫)飯川國資連署奉書寫……二　一四三
證二五八　(文龜二年?)七月卅日　飯川國資書狀寫……二　一四三
證二五五　(年未詳)七月十日　乃美是景書狀寫……二　一四一
證二六〇　(永正元年?)六月廿三日　細川政元書狀寫……二　一四六
證二五九　永正元年六月廿三日　大樂寺尊慶契狀寫……二　一四五
證二六一　(永正四年)七月五日　足利義澄御內書寫……二　一四七
證二六二　(永正四年)七月五日　伊勢貞宗奉書寫……二　一四七
證二五三　(永正五年)五月十三日　一色尹泰書狀寫……二　一三九
證五四七　永正六年八月三日　幕府奉行連署奉書寫……二　三三七
文　九二　永正八年八月十六日　足利義稙安堵御判御敎書案……一　六九
證四一四　永正八年八月十六日　足利義稙安堵御判御敎書案寫(本文省略)……二　二五四
證四一三　永正八年八月十六日　足利義稙安堵御判御敎書寫……二　二五四
證四一五　(永正八年)九月十七日　足利義稙御內書寫……二　二五四
證二六三　永正九年十月十八日　毛利興元盟約狀寫……二　一四八
證四四五　(年未詳)九月二日　三吉豐廣書狀寫……二　二八三
證四四六　(年未詳)九月十二日　三吉豐廣書狀寫……二　二八四
證四四七　(年未詳)十月一日　江田宗實三吉豐廣連署狀寫……二　二八四
證五五〇　(年未詳)十一月一日　細川澄之(?)書狀寫……二　三四一

證二六四　永正十年四月廿日　末長數景外四名連署契狀寫……二　一四九
證四二五　（永正十年）四月廿日　小早川家庶子親類等連署契狀寫……二　二六八
證四二六　（年未詳）八月十日　小早川家親類等連署契狀寫……二　二六九
證二六五　（年未詳）六月廿四日　毛利興元書狀寫……二　一五〇
證五四八　（年未詳）正月廿三日　中山熙豐外二名連署狀寫……二　三三七
證五四九　（年未詳）九月廿九日　兼弘俊平書狀寫……二　三三八
證五八五　（年未詳）九月廿二日　尾張守師爲書狀寫……二　三六九
證五八六　（年未詳）九月廿三日　大和守政宗書狀寫……二　三七〇
證五九二　（年　月　日未詳）　安藝沼田莊接待方分米公事錢配分狀寫……二　三七六
證四一六　（永正十四年？）十二月廿六日　大內義興書狀寫……二　二五五
證四一七　（永正十四年？）十二月廿六日　杉興宣奉書寫……二　二五五
證四一〇　（年未詳）三月十三日　大內義興書狀寫……二　二五二
文四七六　（年未詳）五月廿三日　大內義興書狀……一　四五〇
證四〇九　（年未詳）六月十日　大內義興書狀寫……二　二五二
證四二〇　（年未詳）十一月廿七日　內藤弘和書狀寫……二　二五七
證四二一　（年未詳）十一月廿七日　內藤弘和書狀寫……二　二五八
證四二三　（年未詳）十一月廿七日　相良正任岡部武景連署奉書寫……二　二五八
證四一二　（年未詳）九月廿九日　大內義興書狀寫……二　二五三
文四八〇　（年未詳）正月十八日　杉興重奉書……一　四五二
文四七九　（年未詳）三月十八日　陶興房書狀……一　四五二
證四一一　（年未詳）八月八日　杉興宣書狀寫……二　二五三
文四七七　（年未詳）五月六日　義正書狀……一　四五〇
證四一八　（年未詳）七月廿三日　武田元信書狀寫……二　二五六
證四一九　（年未詳）八月十九日　武田元信書狀寫……二　二五七
證四二七　大永八年四月十八日　大內義興加冠狀寫……二　二七一
文　九一　（年未詳）八月六日　澁川義陸書狀……一　六九
證二六六　（年未詳）八月六日　澁川義陸書狀寫（本文省略）……二　一五一
文四七八　（年未詳）四月廿二日　大內義隆書狀……一　四五一

文一二四　(年未詳)十一月三日　小早川又鶴丸(繁平)書狀……一　一二五
證四七四　(年未詳)十一月三日　小早川又鶴丸(繁平)書狀寫(本文省略)……二　二九八
文一二五　(年未詳)十一月十六日　毛利元就自筆書狀……一　一二五
證四七五　(年未詳)十一月十六日　毛利元就書狀寫(本文省略)……二　二九八
文一三一　(年未詳)十月廿日　毛利元就自筆書狀……一　一二九
證四七八　(年未詳)十月廿日　毛利元就書狀寫(本文省略)……二　二九九
證四三三　(年未詳)八月七日　大內氏老臣連署奉書寫……二　二七七
文一二〇　(年未詳)十月十六日　大內義隆書狀……一　一〇二
證四六六　(年未詳)十月十六日　大內義隆書狀寫(本文省略)……二　二九五
文一二一　(天文四年?)二月廿四日　大內氏老臣連署奉書……一　一〇三
證四六七　(天文四年?)二月廿四日　大內氏老臣連署奉書寫(本文省略)……二　二九五
文一四三　(天文四年?)三月廿三日　小早川又太郎(繁平)書狀……一　一三六
證四六五　(天文四年?)三月廿三日　小早川又太郎(繁平)書狀寫(本文省略)……二　二九五
證四二八　天文八年四月廿四日　大內義隆官途吹擧狀寫……二　二七一
文一一八　(天文十年?)正月五日　內藤隆時奉書……一　一〇一
證四六八　(天文十年?)正月五日　內藤隆時奉書寫(本文省略)……二　二九六
證四二九　天文十年正月三日　小早川興景手衆合戰手負注文寫……二　二七一
證四三〇　(天文十年)正月四日　毛利元就書狀寫……二　二七三
證四三一　天文十年正月十七日　小早川興景郎從等頸注文寫……二　二七四
證四三二　天文十年正月十七日　小早川興景郎從等合戰注文寫……二　二七四
文四七四　(年未詳)九月廿六日　小早川興景手衆合戰注文……一　四一九
文一二三　(天文十二年)六月三日　岡部武景奉書……一　一〇四
證四六九　(天文十二年)六月三日　岡部武景奉書寫(本文省略)……二　二九六
文一五〇　(天文十六年?)二月五日　慈光院壽文平井高數連署狀案……一　一四一
證二六九　(天文十六年?)二月五日　慈光院壽文平井高數連署狀案寫(本文省略)……二　一五二
證二六七　(天文十八年)三月十日　大內義隆感狀寫……二　一五一
文一一七　(天文十九年閏五月廿七日　大內氏老臣連署狀……一　一〇〇

證四七九　(天文十九年)閏五月廿七日　大內氏老臣連署狀寫(本文省略)……二　二九九
文一一六　(天文十九年)六月廿二日　大內氏老臣連署狀……一　一〇〇
證四八〇　(天文十九年)六月廿二日　大內氏老臣連署狀寫(本文省略)……二　三〇〇
文五三〇　(年未詳)十月廿三日　毛利元就自筆書狀案……一　五一七
文一三九　天文廿一年三月廿一日　小早川隆景知行充行狀……一　一三四
證四七〇　天文廿一年三月廿一日　小早川隆景知行充行狀寫(本文省略)……二　二九六
文一四二　(年未詳)八月十日　小早川隆景自筆書狀……一　一三六
證四七六　(年未詳)八月十日　小早川隆景書狀寫(本文省略)……二　二九九
證四七二　天文廿二年八月二日　小早川隆景感狀寫……二　二九七
證四七三　天文廿二年八月二日　小早川隆景感狀寫……二　二九七
文一一一　天文廿二年九月二日　內藤元久書狀……一　八六
文五三一　(天文廿四年)九月廿七日　毛利元就自筆書狀……一　五二一
文五三二　(年月日未詳)　毛利元就自筆書狀……一　五二三
文二〇五　(年未詳)三月十八日　足利義輝自筆御內書……一　二〇三
文四七三　自永祿二年正月八日至永祿十一年月日　小早川家座配書立……一　四一〇
文二二一　(永祿二年?)五月十三日　足利義輝御內書……一　二二五
文二〇六　(永祿二年?)十月十一日　足利義輝自筆書狀……一　二〇三
文二一九　(永祿三年)二月廿日　足利義輝御內書……一　二一四
文一二三　自永祿四年三月廿六日至同四年閏三月六日　毛利元就父子雄高山行向滯留日記寫……一　一〇五
文二三〇　(永祿四年)閏三月十二日　足利義輝御內書……一　二一四
文一七七　永祿五年九月廿八日　正親町天皇綸旨……一　一七九
文四八一　(年未詳)五月十七日　小早川隆景自筆書狀……一　四五三
文二三二　(年未詳)八月八日　足利義輝御內書……一　二一六
文一七八　(年未詳)六月廿四日　正親町天皇綸旨……一　一八〇
文一五四　(永祿八年)二月十八日　桂元澄書狀案……一　一四五
證二六八　(永祿八年)二月十八日　桂元澄書狀案寫(本文省略)……二　一五一
文一二七　(年未詳)十二月十四日　毛利輝元自筆書狀……一　一二六
證四八一　(年未詳)十二月十四日　毛利輝元書狀寫(本文省略)……二　三〇〇

文一二六　(年未詳)十二月廿二日　毛利元就同輝元連署狀……一　一二六
證四八二　(年未詳)十二月廿二日　毛利元就同輝元連署狀寫(本文省略)……一　一二六
文一三二　(年未詳)六月廿三日　毛利輝元自筆書狀……一　一二九
證四八三　(年未詳)六月廿三日　毛利輝元書狀寫(本文省略)……二　三〇一
文一四五　(年未詳)六月廿三日　穗田毛利元清自筆書狀……一　一三七
文一七一　(年未詳)三月廿一日　桂就延兒玉就忠連署狀……一　一七一
文一四〇　(年未詳)六月十九日　小早川隆景自筆書狀……一　一三四
文一四一　(年未詳)七月晦日　小早川隆景自筆書狀……一　一三五
文一二九　(年未詳)十二月十九日　小早川隆景自筆書狀……一　一二八
證四七一　(年未詳)十二月十九日　小早川隆景書狀寫(本文省略)……二　二九六
文一二八　(永祿十一年?)五月廿六日　小早川隆景自筆書狀……一　一二七
證四七七　(永祿十一年?)五月廿六日　小早川隆景書狀寫(本文省略)……二　二九九
文二六二　(永祿十二年)二月十三日　織田信長書狀……一　二四三
文二六四　(永祿十二年)三月十八日　織田信長書狀……一　二四五
文三九四　(永祿十二年)三月十八日　木下秀吉書狀……一　三四三
文二二四　(永祿十二年)三月廿三日　足利義昭御內書……一　二一七
文五三七　(永祿十二年)五月廿二日　毛利元就感狀……一　五二九
文二二七　(元龜元年)十二月廿七日　足利義昭御內書……一　二一九
文二六九　(元龜二年)四月十一日　織田信長書狀……一　二四八
文三九五　(元龜二年)四月十一日　木下秀吉武井夕云連署狀……一　三四四
文五三九　(元龜二年)五月七日　小早川隆景自筆書狀……一　五三〇
文二五七　(元龜二年)六月十二日　足利義昭御內書……一　二三八
文二七三　(元龜二年)九月十七日　織田信長書狀……一　二五二
文二二三　(元龜二年?)九月晦日　足利義昭御內書……一　二一六
文二六〇　(元龜三年?)二月十三日　織田信長書狀……一　二四一
文二六六　(元龜三年)四月五日　織田信長書狀……一　二四六
文二七〇　(元龜三年?)五月二日　織田信長書狀……一　二四九
文二五八　(天正元年)八月朔日　足利義昭御內書……一　二三九
文二七二　(天正元年?)九月七日　織田信長書狀……一　二五一

文三九四　(永祿十二年)三月十八日　木下秀吉書狀……一　三四三
文二二四　(永祿十二年)三月廿三日　足利義昭御內書……一　二一七
文五三七　(永祿十二年)五月廿二日　毛利元就感狀……一　五二九
文二二七　(元龜元年)十二月廿七日　足利義昭御內書……一　二一九
文二六九　(元龜二年)四月十一日　織田信長書狀……一　二四八
文三九五　(元龜二年)四月十一日　木下秀吉武井夕云連署狀……一　三四四
文五三九　(元龜二年)五月七日　小早川隆景自筆書狀……一　五三〇
文二五七　(元龜二年)六月十二日　足利義昭御內書……一　二三八
文二七三　(元龜二年)九月十七日　織田信長書狀……一　二五二
文二二三　(元龜二年?)九月晦日　足利義昭御內書……一　二一六
文二六〇　(元龜三年?)二月十三日　織田信長書狀……一　二四一
文二六六　(元龜三年)四月五日　織田信長書狀……一　二四六
文二七〇　(元龜三年?)五月二日　織田信長書狀……一　二四九
文二五八　(天正元年)八月朔日　足利義昭御內書……一　二三九
文二七二　(天正元年?)九月七日　織田信長書狀……一　二五一

文四〇二　（天正元年？）九月七日　羽柴秀吉武井夕云連署狀……一　三五〇
文二七四　（天正元年）十月十二日　織田信長書狀……一　二五二
文四〇三　（天正元年）十月十二日　羽柴秀吉書狀……一　三五一
文二七五　（天正元年）十一月七日　織田信長書狀……一　二五三
文四〇四　（天正元年）十一月七日　羽柴秀吉武井夕云連署狀……一　三五二
什　一　（天正二年）三月二日　織田信長書狀寫……二　三七八
文二六三　（天正二年）三月二日　織田信長書狀……一　二四四
文五四三　（天正二年）十二月晦日　小早川隆景自筆書狀……一　五三四
文二七一　（天正三年？）七月六日　織田信長書狀……一　二五〇
文二五九　（天正四年）正月十七日　織田信長書狀……一　二四一
文三九三　（天正四年）正月十九日　羽柴秀吉書狀……一　三四二
文二六一　（年未詳）二月十三日　織田信長書狀……一　二四二
文二六五　（年未詳）三月卅日　織田信長書狀……一　二四六
文三九六　（年未詳）四月一日　羽柴秀吉書狀……一　三四五
文二六八　（年未詳）四月五日　織田信長書狀……一　二四八
文二六七　（年未詳）四月五日　織田信長書狀……一　二四七
文三九七　（年未詳）四月七日　羽柴秀吉武井夕云連署狀……一　三四六
文二四九　（天正四年）二月八日　足利義昭御內書……一　二三三
文五四八　（年未詳）十月朔日　眞木島昭光奉書……一　五三九
證二七一　（天正四年月　日？）　禮錢遣方注文寫……二　一五二
文一五九　（天正四年）十月二日　足利義昭御內書案……一　一六二
證二七〇　（天正四年）十月二日　足利義昭御內書案寫（本文省略）……二　一五二
文一六〇　（天正四年）十月二日　六角義堯書狀案……一　一六二
證二七二　（天正四年）十月二日　六角義堯書狀案寫（本文省略）……二　一五四
文一六一　（天正四年）十月二日　武田信景書狀案……一　一六三
證二七三　（天正四年）十月二日　武田信景書狀案寫（本文省略）……二　一五五
文一一二　天正四年十月□日　足利義昭賜與品目錄……一　八八
文二四八　（天正四年）十月十日　足利義昭御內書……一　二三二
文四七五　自天正四年　月　日　至天正十四年　月　日　小早川家座配書立……一　四二〇
文二二八　（天正五年）三月朔日　足利義昭御內書……一　二一九

文二三一　（天正五年？）四月六日　足利義昭御内書……一　二一一
文二二五一　（天正五年？）六月九日　足利義昭御内書……一　二三五
文二四一　（天正五年）九月廿三日　足利義昭御内書……一　二二八
文二〇八　（天正六年？）五月四日　足利義昭散文御内書……一　二〇五
中　（天正　六年）五月九日　足利義昭御内書寫……二　五二二
文二四七　（天正六年）五月廿四日　足利義昭御内書……一　二三一
文二二九　（天正六年）七月十三日　足利義昭御内書……一　二二〇
文二四二　（天正六年？）八月五日　足利義昭御内書……一　二二八
文五四四　（天正六年？）八月六日　眞木島昭光奉書……一　五三六
文二三二　（天正六年九）月廿二日　足利義昭御内書……一　二二二
文五四九　（天正六年九）月廿二日　眞木島昭光奉書……一　五四〇
文二三〇　（年未詳）十一月廿四日　足利義昭御内書……一　二二一
文二三五　（天正　七年）正月七日　足利義昭御内書……一　二二四
文五四〇　（天正七年？）五月廿六日　小早川隆景自筆書狀……一　五三二
文五四一　（天正七年？）五月廿九日　小早川隆景自筆書狀……一　五三二
文三八六　（天正　七年）九月七日　吉川元春自筆書狀……一　三三四
文二〇九　（天正七年）十一月九日　足利義昭散文御内書……一　二〇五
文二五五　（天正七年？）十一月廿三日　足利義昭御内書……一　二三七
文二二六　（天正七年？）十二月五日　足利義昭御内書……一　二一八
文二五二　（天正　八年）正月七日　足利義昭御内書……一　二三五
文三八七　（天正八年）閏三月六日　吉川元春自筆書狀……一　三三六
文二五〇　（天正　八年）四月七日　足利義昭御内書……一　二三四
文二三九　（天正八年？）五月十八日　足利義昭御内書……一　二二七
文三八九　（年　未詳）四月五日　吉川元春自筆書狀……一　三三八
文三九〇　（年　未詳）八月七日　吉川元春自筆書狀……一　三三九
文五三八　（年　未詳）正月十五日　小早川隆景書狀……一　五二九
文五四二　（年　未詳）七月十八日　小早川隆景自筆書狀……一　五三三
吉　一二　（年　未詳）二月廿四日　穗田毛利元清書狀寫……二　五一二
文五五〇　（年　未詳）六月廿六日　氏名未詳書狀……一　五四〇
文五二九　（年　未詳）六月廿六日　下間賴廉書狀……一　五一六

文四〇七　(天正十年)十二月十八日　羽柴秀吉書狀……一　三五五
文三九八　(天正十一年)四月廿二日　羽柴秀吉書狀……一　三四七
文二七七　(天正十一年)四月廿五日　羽柴秀吉書狀……一　二五六
文四一五　(天正十一年)五月七日　黑田孝高自筆書狀……一　三六二
什　七　(天正十一年)五月八日　木下助休書狀寫……二　三八六
文二七八　(天正十二年)正月二日　羽柴秀吉書狀……一　二五六
文二七六　(天正十二年)正月五日　羽柴秀吉書狀……一　二五五
文四三一　(天正十三年)正月十七日　黑田孝高蜂須賀正勝連署狀……一　三七六
文四六七　(天正十三年)二月八日　羽柴秀吉書狀……一　四〇四
文四六五　(天正十三年)二月八日　羽柴秀吉書狀……一　四〇三
文二八三　(天正十三年)二月十三日　羽柴秀吉書狀……一　二六二
文二八〇　(天正十三年)三月十七日　羽柴秀吉書狀……一　二五八
文二七九　(天正十三年)三月十七日　羽柴秀吉書狀……一　二五八
文二八四　(天正十三年)三月廿五日　羽柴秀吉書狀……一　二六二
文二八五　(天正十三年)四月十四日　羽柴秀吉書狀……一　二六四
文三八八　(天正十三年)五月四日　吉川元春自筆書狀……一　三三七
文五五一　天正十三年六月十八日　羽柴秀吉書狀……一　五四一
文四八五　(天正十三年)七月十九日　羽柴秀長書狀……一　四五六
文二八一　(天正十三年)七月廿一日　羽柴秀吉書狀……一　二五九
文二八二　(天正十三年)七月廿一日　羽柴秀吉書狀……一　二六〇
文四八二　(天正十三年)七月廿一日　羽柴秀次書狀……一　四五四
文二一七　(天正十三年)閏七月六日　羽柴秀長書狀……一　二一二
文二一四　(天正十三年)閏七月六日　羽柴秀長書狀……一　二〇九
文二一六　(天正十三年)八月十四日　羽柴秀長書狀……一　二一一
文二一二　(天正十三年?)八月十四日　羽柴秀長書狀……一　二〇八
文四〇一　(天正十三年)閏八月十八日　羽柴秀吉朱印狀……一　三四九
文四八三　(天正十三年?)八月廿六日　羽柴秀次書狀……一　四五五
文四七〇　(天正十三年)閏八月十四日　羽柴秀吉朱印狀……一　四〇六
文二一三　(天正十三年)九月廿四日　羽柴秀長書狀……一　二〇八
文二三八　(天正十三年)十月朔日　足利義昭御內書……一　二二五

文二四三　(天正十四年)正月晦日　足利義昭御内書……一　二一九
文二五四　(年未詳)正月八日　足利義昭御内書……一　二三六
文二五三　(年未詳)正月十五日　足利義昭御内書……一　二三六
文二二五　(年未詳)正月廿四日　足利義昭御内書……一　二一八
文二四六　(年未詳)六月十五日　足利義昭御内書……一　二三一
文二五六　(年未詳)八月廿八日　足利義昭御内書……一　二三八
文二三三　(年未詳)十月朔日　足利義昭御内書……一　二二三
文二四四　(年未詳)十一月十五日　足利義昭御内書……一　二二九
文一五七　天正十四年二月晦日　椋梨弘平同景良給地貫目付案……一　一六〇
文五五二　(天正十四年)八月三日　羽柴秀吉直書写……一　五四一
文三九九　(天正十四年)八月五日　羽柴秀吉直書……一　三四八
文四〇〇　(天正十四年)八月五日　羽柴秀吉直書……一　三四八
文二四〇　(天正十四年)八月十一日　足利義昭御内書……一　二二七
文四六二　(年未詳)九月十八日　羽柴秀吉朱印状……一　四〇一
文四六三　(年未詳)九月十八日　羽柴秀吉朱印状……一　四〇一

文三一七　(天正十四年)九月晦日　羽柴秀吉朱印状……一　二八七
文四四二　(天正十四年)九月晦日　羽柴秀吉朱印状……一　三八六
文四三二　(天正十四年)十月十三日　羽柴秀吉朱印状……一　三七八
文四三三　(天正十四年)十月十三日　羽柴秀吉朱印状……一　三七八
文四三四　(天正十四年)十月十三日　羽柴秀吉朱印状……一　三七九
文四三五　(天正十四年)十月十四日　羽柴秀吉朱印状……一　三八〇
文三三四　(天正十四年)十月廿一日　羽柴秀吉朱印状……一　三〇一
文三三六　(天正十四年)十月廿二日　羽柴秀吉朱印状……一　三〇二
文三三七　(天正十四年)十月廿二日　羽柴秀吉朱印状……一　三〇三
文三三九　(天正十四年)十月廿二日　羽柴秀吉朱印状……一　三〇四
文三四〇　(天正十四年)十月廿二日　羽柴秀吉朱印状……一　三〇五
文四〇五　(天正十四年)十一月廿三日　羽柴秀吉直書……一　三五三
文四〇六　(天正十四年)十二月朔日　羽柴秀吉直書……一　三五四
文四七二　(天正十四年)十二月十二日　羽柴秀吉朱印状……一　四〇八
什　九　(天正十四年)十二月廿四日　豊臣秀吉朱印状写……二　三八八

文四六六　(天正十五年)三月六日　豐臣秀吉朱印狀……一　四〇四
文二三七　(天正十五年)三月廿一日　足利義昭御內書……一　二二五
文四六四　(天正十五年)三月廿六日　豐臣秀吉朱印狀……一　四〇二
文四六九　(天正十五年)三月晦日　豐臣秀吉朱印狀……一　四〇五
文四七一　(天正十五年)四月十五日　豐臣秀吉朱印狀……一　四〇七
文四六八　(天正十五年)四月廿一日　豐臣秀吉朱印狀……一　四〇五
什　二　(天正十五年)五月八日　豐臣秀吉朱印狀寫……二　三八〇
文四九七　(天正十五年)五月十九日　豐臣秀吉直書……一　四六九
文三三二　(天正十五年?)六月十一日　豐臣秀吉朱印狀……一　三〇〇
文一八三　(天正十五年)七月三日　豐臣秀吉朱印狀……一　一九一
文三七〇　(天正十五年)八月一日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二五
文四三八　(天正十五年)八月六日　豐臣秀吉朱印狀……一　三八二
文四二九　(天正十五年)八月六日　安威五左衞門尉某書狀……一　三七五
文二一八　(天正十五年)八月六日　豐臣秀長書狀……一　二一二
文四八六　(天正十五年)九月七日　豐臣秀吉直書……一　四五八

文四九四　(天正十五年)九月八日　豐臣秀吉直書……一　四六六
文四八七　(天正十五年)九月十九日　豐臣秀吉直書……一　四五九
文四三九　(天正十五年)九月十九日　豐臣秀吉朱印狀……一　三八三
文四九〇　(天正十五年)九月廿一日　豐臣秀吉直書……一　四六三
文五一三　(天正十五年)十月十四日　豐臣氏奉行連署覺書……一　四九八
文二四五　(天正十五年)十月十五日　足利義昭御內書……一　二三〇
文五〇〇　(天正十五年)十月廿一日　豐臣秀吉直書……一　四七一
文四四七　(天正十五年)十月廿一日　豐臣秀吉朱印狀……一　三九〇
文四四三　(天正十五年)十月廿二日　豐臣秀吉朱印狀……一　三八六
文三一九　(天正十五年?)十一月十日　豐臣秀吉朱印狀……一　二八九
文三三五　(天正十五年?)十一月十日　豐臣秀吉朱印狀……一　三〇二
文四八九　(天正十五年)十二月十日　豐臣秀吉直書……一　四六一
文四四五　(天正十五年)十二月十日　豐臣秀吉朱印狀……一　三八九
文四八八　(天正十五年)十二月廿七日　豐臣秀吉直書……一　四五九
文四四四　(天正十五年)十二月廿七日　豐臣秀吉朱印狀……一　三八八

文四九九　(年未詳)二月四日　豐臣秀吉直書……一　四七一
什　三　(年未詳)七月八日　豐臣秀吉朱印狀寫……二　三八〇
文三八三　(年未詳)八月廿八日　豐臣秀吉朱印狀……一　三三二
文三三一　(年未詳)八月廿八日　豐臣秀吉朱印狀……一　二九九
文二八六　(年未詳)九月八日　豐臣秀吉朱印狀……一　二六五
文一五二　(年未詳)八月八日　延曆寺別當代書狀……一　一四三
證二七五　(年未詳)八月八日　延曆寺別當代書狀寫(本文省略)……二　一五五
文一五三　(年未詳)八月十日　惠光院(?)賢存書狀……一　一四四
證二七四　(年未詳)八月十日　惠光院(?)賢存書狀寫(本文省略)……二　一五五
文四九一　(天正十六年)正月五日　豐臣秀吉直書……一　四六三
文四九八　(天正十六年)正月十九日　豐臣秀吉直書……一　四六九
文四四六　(天正十六年)正月廿七日　豐臣秀吉朱印狀……一　三九〇
文四九三　(天正十六年)二月十六日　豐臣秀吉直書……一　四六六
文四三六　(天正十六年)二月廿日　豐臣秀吉朱印狀……一　三八一
文四九二　(天正十六年)三月六日　豐臣秀吉直書……一　四六五
文四三七　(天正十六年)四月二日　豐臣秀吉朱印狀……一　三八二
文三七四　(天正十六年)五月二日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二七
文五三三　(天正十六年)五月三日　豐臣秀吉朱印狀……一　五二五
文四九六　(天正十六年)五月廿五日　豐臣秀吉直書……一　四六八
文五一二　(天正十六年)閏五月十四日　豐臣秀吉朱印狀……一　四九三
文三七二　(天正十六年)閏五月十四日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二六
文二三四　(天正十六年)閏五月廿四日　足利義昭御內書……一　二二三
文五四六　(天正十六年)閏五月廿四日　眞木島昭光奉書……一　五三七
文二三六　(天正十六年)閏五月廿四日　足利義昭御內書……一　二二四
文五四五　(天正十六年)閏五月廿四日　眞木島昭光奉書……一　五三六
文五〇二　天正十六年七月八日　豐臣秀吉法度……一　四七八
文五〇三　天正十六年七月八日　豐臣秀吉掟書……一　四七九
文一八四　天正十六年七月廿五日　後陽成天皇口宣案寫……一　一九二
文一九一　天正十六年七月廿五日　後陽成天皇口宣案寫(本文省略)……一　一九六
文一八五　天正十六年七月廿五日　後陽成天皇口宣案寫……一　一九二

文一九二　天正十六年七月廿五日　後陽成天皇口宣案寫(本文省略)……一　一九六
文一八九　(天正十六年)七月廿五日　飛鳥井雅春紫組冠懸免許狀寫……一　一九五
文一九〇　(天正十六年)七月廿五日　飛鳥井雅春紫組冠懸免許狀寫
(本文省略)……一　一九五
文一八六　天正十六年八月二日　後陽成天皇口宣案寫……一　一九三
文一九三　天正十六年八月二日　後陽成天皇口宣案寫(本文省略)……一　一九六
文三一八　(天正十六年?)八月十日　豐臣秀吉朱印狀……一　二八八
文一七九　天正十六年八月十二日　豐臣秀吉朱印狀……一　一八一
文四五二　(天正十六年)九月十六日　豐臣秀吉朱印狀……一　三九五
文三七三　(天正十六年)九月廿二日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二七
文四九五　(天正十六年?)九月廿五日　豐臣秀吉直書……一　四六八
文三八一　(天正十六年)十月五日　豐臣秀吉朱印狀……一　三三一
文三六五　(天正十六年)十月廿二日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二二
文四八四　(年未詳)正月六日　豐臣秀次直書……一　四五五
文三七八　(天正十七年?)二月十一日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二九
文四四八　(天正十七年)十二月四日　豐臣秀吉朱印狀……一　三九一
文四五一　(天正十八年)五月廿三日　豐臣秀吉朱印狀……一　三九四
文三七一　(天正十八年)六月十五日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二六
文四六〇　(天正十八年)六月十八日　豐臣秀吉朱印狀……一　三九九
文四五七　(天正十八年)六月廿日　豐臣秀吉朱印狀……一　三九七
文四五五　(天正十八年)六月廿一日　豐臣秀吉朱印狀……一　三九六
文四四一　(天正十八年)六月廿一日　豐臣秀吉朱印狀……一　三八四
文四五三　(天正十八年)六月廿九日　豐臣秀吉朱印狀……一　三九五
文四五六　(天正十八年)六月廿九日　豐臣秀吉朱印狀……一　三九七
文四四九　(天正十八年　月　日)　豐臣秀吉朱印狀案……一　三九二
(天正十八年六月　日)　豐臣秀吉朱印狀案……一　三九二
(天正十八年七月日?)　豐臣秀吉朱印狀案……一　三九三
(天正十八年　月　日)　豐臣秀吉朱印狀案……一　三九三
文一五一　(天正十八年)七月五日　豐臣秀吉朱印狀寫……一　一四二
證二七六　(天正十八年)七月五日　豐臣秀吉朱印狀寫(本文省略)……二　一五五

文四六一　(天正十八年)七月五日　豐臣秀吉朱印狀……一　四〇〇
文三六九　(天正十八年)七月五日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二五
文三五二　(天正十八年)七月十一日　豐臣秀吉朱印狀……一　三一五
文四二七　(天正十八年)七月十四日　長束正家書狀……一　三七三
文四五四　(天正十八年)七月十五日　豐臣秀吉朱印狀……一　三九六
文四五九　(天正十八年)七月十六日　豐臣秀吉朱印狀……一　三九八
文四五〇　(天正十八年)七月十六日　豐臣秀吉朱印狀……一　三九四
吉　一一　(天正十八年?)八月六日　小早川秀包書狀寫……二　五一一
文四〇九　(天正十九年?)正月廿日　木下吉隆自筆書狀……一　三五八
文一八〇　天正十九年三月十三日　豐臣秀吉檢地知行方目錄……一　一八一
文四一七　(天正十九年)四月十三日　石川光元書狀……一　三六五
文四一九　(天正十九年)四月十九日　石川光元書狀……一　三六七
文四二〇　(天正十九年)四月廿三日　石川光元書狀……一　三六七
文四二一　(天正十九年)五月十三日　石川光元書狀……一　三六八
文五〇四　天正十九年八月廿一日　豐臣秀吉法度……一　四八一
文一五八　天正十九年十月十日　裳懸采女佑外二名連署知行渡狀……一　一六一
文四二八　(天正十九年?)十一月八日　成瀨國次書狀……一　三七四
文三一六　(年未詳)十二月廿七日　豐臣秀吉朱印狀……一　二八七
文五〇五　天正廿年正月五日　豐臣秀吉掟書……一　四八二
文五〇六　天正廿年正月五日　豐臣秀吉掟書……一　四八三
文二八七　(天正廿年)正月廿四日　豐臣秀吉朱印狀……一　二六五
文二八八　(天正廿年)正月廿四日　豐臣秀吉朱印狀……一　二六六
文二八九　(天正廿年)正月廿四日　豐臣秀吉朱印狀……一　二六六
文二九〇　(天正廿年)正月廿四日　豐臣秀吉朱印狀……一　二六七
文二九一　(天正廿年)二月十七日　豐臣秀吉朱印狀……一　二六七
文三〇三　(天正廿年)二月　日　豐臣秀次朱印狀……一　二七九
文三〇六　(天正廿年)二月　日　豐臣秀次朱印狀……一　二八〇
文二九四　(天正廿年)二月十九日　豐臣秀吉朱印狀……一　二七〇
文三三八　(天正廿年?)二月十九日　豐臣秀吉朱印狀……一　三〇三

文二九五　(天正廿年)二月廿七日　豐臣秀吉朱印狀……一　二七一
文二九七　(天正廿年)三月朔日　豐臣秀吉朱印狀……一　二七三
文五〇一　(天正廿年)三月十三日　豐臣秀吉朱印狀……一　四七三
什　五　(天正廿年)三月十三日　豐臣秀吉朱印狀寫……二　三八三
文五四七　(天正廿年)三月廿一日　眞木島昭光奉書……一　五三八
文五三四　(天正廿年)五月三日　聖護院道澄書狀……一　五二六
文二九九　(天正廿年)五月十六日　豐臣秀吉朱印狀……一　二七四
文三一〇　(天正廿年)五月廿七日　豐臣秀次朱印狀……一　二八二
文五〇八　天正二十年六月三日　豐臣秀吉朱印狀……一　四八八
文五〇七　天正廿年六月三日　豐臣秀吉朱印狀……一　四八四
文三一三　(天正廿年)六月三日　豐臣秀吉朱印狀……一　二九二
文三一二　(天正廿年)六月十九日　豐臣秀吉朱印狀……一　二八四
文三一三　(天正廿年)六月十九日　豐臣秀吉朱印狀……一　二八五
文三一四　(天正廿年)七月十五日　豐臣秀吉朱印狀……一　二九二
文三一五　(天正廿年)七月廿一日　豐臣秀吉朱印狀……一　二九三
什　四　(天正廿年或文祿二年月日?)　豐臣秀吉上洛諸泊次第寫……二　三八二
吉　一三　(天正廿年?)八月廿九日　中少路一元書狀寫……二　五一三
文四二四　(天正廿年)九月三日　豐臣氏奉行連署狀……一　三七一
文三〇七　(天正廿年)九月八日　豐臣秀次朱印狀……一　二八一
文三一八　(天正廿年)九月廿四日　豐臣秀吉朱印狀……一　二九六
文三三三　(天正廿年)九月廿四日　豐臣秀吉朱印狀……一　三〇〇
文三二九　(天正廿年)九月廿五日　豐臣秀吉朱印狀……一　二九七
文五三五　(天正廿年)十一月八日　德川家康書狀……一　五二七
文三四二　(天正廿年)十一月十日　豐臣秀吉朱印狀……一　三〇六
文三二二　(天正廿年)十二月六日　豐臣秀吉朱印狀……一　二九〇
文三四三　(文祿元年)十二月廿八日　豐臣秀吉朱印狀……一　三〇八
文二九二　(文祿二年)二月九日　豐臣秀吉朱印狀……一　二六八
文二九三　(文祿二年)二月十八日　豐臣秀吉朱印狀……一　二六九
文二九六　(文祿二年)二月廿八日　豐臣秀吉朱印狀……一　二七二
文二九八　(文祿二年)三月十九日　豐臣秀吉朱印狀……一　二七四

文三四四　(文祿二年)四月五日　豐臣秀吉朱印狀……一　三〇九
文三四五　(文祿二年)四月五日　豐臣秀吉朱印狀……一　三〇九
文三四六　(文祿二年)四月五日　豐臣秀吉朱印狀……一　三一〇
文三四七　(文祿二年)四月五日　豐臣秀吉朱印狀……一　三一一
文三四八　(文祿二年)四月九日　豐臣秀次朱印狀……一　二八三
文三四九　(文祿二年)四月十一日　豐臣秀吉朱印狀……一　三一一
文三五〇　(文祿二年)五月一日　豐臣秀吉朱印狀……一　二八九
文四二六　(文祿二年)五月十八日　羽柴秀保書狀……一　三七三
文三六三　(文祿二年)五月十九日　豐臣秀吉朱印狀……一　三一一
文四一六　(文祿二年)五月十九日　長束正家書狀……一　三六三
文三〇〇　(文祿二年)五月廿一日　豐臣秀吉朱印狀……一　二七六
文三〇一　(文祿二年)五月廿二日　豐臣秀吉朱印狀……一　二七六
文三〇二　(文祿二年)五月廿三日　豐臣秀吉朱印狀……一　二七七
文三〇九　(文祿二年)五月廿六日　豐臣秀次朱印狀……一　二八二
文二一〇　(文祿二年)五月廿六日　足利昌山(義昭)自筆消息……一　二〇六
文二一一　(文祿二年)五月廿六日　眞木嶋昭光自筆書狀……一　二〇七
文三二一　(文祿二年)六月二日　豐臣秀吉朱印狀……一　二九〇
文三四九　(文祿二年)七月十三日　豐臣秀吉朱印狀……一　三一二
什　八　(文祿二年)七月十四日　豐臣氏奉行連署奉書寫……二　三八七
文四二三　(文祿二年)七月廿二日　豐臣氏奉行連署狀……一　三七〇
文三二六　(文祿二年)七月廿七日　豐臣秀吉朱印狀……一　二九四
文五〇九　文祿二年七月廿七日　豐臣秀吉朱印狀……一　四八九
文四二二　(文祿二年)七月廿九日　豐臣氏奉行連署狀……一　三六九
文四三〇　(文祿二年)七月廿九日　長束正家書狀……一　三七六
文三二七　(文祿二年)八月六日　豐臣秀吉朱印狀……一　二九五
文四一八　(文祿二年)八月六日　長束正家書狀……一　三六六
文三三〇　(文祿二年)八月六日　豐臣秀吉朱印狀……一　二九八
文三六八　(文祿二年?)八月六日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二三
文五一〇　文祿二年八月七日　豐臣秀吉朱印狀……一　四九二
文五一一　文祿二年八月七日　豐臣秀吉朱印狀……一　四九三

文三四一　(文祿二年)閏九月九日　豐臣秀吉朱印狀……一　三〇六
文二〇七　(文祿二年)閏九月九日　足利義昭自筆消息……一　二〇四
文三五〇　(文祿二年)閏九月廿五日　豐臣秀吉朱印狀……一　三一三
文四四〇　(文祿二年　月　日　豐臣秀吉朱印狀……一　三八四
文三〇五　(文祿二年)十月廿一日　豐臣秀次朱印狀……一　二八〇
文三八〇　(文祿二年?)十二月十六日　豐臣秀吉朱印狀……一　三三〇
文三六二　(年未詳)正月十日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二〇
文三六六　(年未詳)二月五日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二二
文三五六　(年未詳)五月朔日　豐臣秀吉朱印狀……一　三一七
文三五三　(年未詳)五月三日　豐臣秀吉朱印狀……一　三一六
文三五四　(年未詳)五月四日　豐臣秀吉朱印狀……一　三一六
文三六四　(年未詳)六月廿五日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二一
文四五八　(年未詳)七月五日　豐臣秀吉朱印狀……一　三九八
文三六一　(年未詳)七月六日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二〇
文三五九　(年未詳)十二月廿三日　豐臣秀吉朱印狀……一　三一九
文三七七　(年未詳)十二月廿五日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二九
文三五五　(年未詳)十二月廿八日　豐臣秀吉朱印狀……一　三一七
文三七五　(年未詳)十二月廿九日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二八
文三八四　(文祿三年)十月廿三日　豐臣秀吉朱印狀……一　三三三
文一五五　(文祿三年十一月　日)　小早川秀秋三原下向祝言日記……一　一四九
證二七七　(文祿三年十一月　日)　小早川秀秋三原下向祝言日記
寫(本文省略)……二　一五六
文一五六　文祿三年十一月廿五日　小早川秀秋三原下向賞翫日記……一　一五三
證二七八　文祿三年十一月廿五日　小早川秀秋三原下向賞翫日記
寫(本文省略)……二　一五六
文三七九　(文祿三年)十一月廿七日　豐臣秀吉朱印狀……一　三三〇
文三一四　(文祿三年)十二月三日　豐臣秀吉朱印狀……一　二八五
文三〇八　(年未詳)五月五日　豐臣秀次朱印狀……一　二八一
文三〇四　(年未詳)八月十五日　豐臣秀次朱印狀……一　二七九
文三五一　(年未詳)十一月四日　豐臣秀吉朱印狀……一　三一五

文五一四（年　月　日　未詳）氏名未詳書狀……一　五〇一
文一四四（年　未詳）二月廿八日　小早川隆景自筆書狀（寫眞版挿入）……一　一三七
文四一〇（文祿四年）正月四日　木下吉隆自筆書狀……一　三五九
文四一三（年　未詳）四月四日　木下吉隆自筆書狀……一　三六一
文四一一（年　未詳）四月十日　木下吉隆自筆書狀……一　三六〇
文四一二（年　未詳）六月九日　木下吉隆自筆書狀……一　三六一
文四〇八（年　月　日　未詳）木下吉隆自筆書狀……一　五八三
文四一四（年　月　日　未詳）木下吉隆自筆書狀……一　三六二
文一九六（文祿四年）二月二日　勸修寺晴豐中山親綱久我敦通連署狀寫……一　一九七
文一九七（文祿四年）二月二日　勸修寺晴豐中山親綱久我敦通連署狀寫（本文省略）……一　一九八
文一九八（文祿四年）二月二日　勸修寺晴豐中山親綱久我敦通連署狀寫（本文省略）……一　一九八
什六　萬曆二十三年二月　日　明朝劄付寫……二　三八五
文二〇一（文祿四年）五月廿四日　勸修寺晴豐中山親綱久我敦通連署狀寫……一　二〇一
文二〇二（文祿四年）五月廿四日　勸修寺晴豐中山親綱久我敦通連署狀寫（本文省略）……一　二〇一
文二〇三（文祿四年）五月廿四日　勸修寺晴豐中山親綱久我敦通連署狀寫（本文省略）……一　二〇二
文一八七　文祿四年八月六日　後陽成天皇口宣案寫……一　一九四
文一九四　文祿四年八月六日　後陽成天皇口宣案寫（本文省略）……一　一九六
文一八八　文祿四年八月六日　後陽成天皇口宣案寫……一　一九四
文一九五　文祿四年八月六日　後陽成天皇口宣案寫（本文省略）……一　一九七
文三一五（文祿四年）九月廿八日　豐臣秀吉朱印狀……一　二八六
文一八一　文祿四年十二月朔日　豐臣秀吉檢地知行朱印狀……一　一八二
文一八二　文祿四年十二月朔日　筑前鞍手宗像御牧三郡內知行方目錄帳……一　一八三
文三六〇（年　未詳）九月九日　豐臣秀吉朱印狀……一　三一九

文三五七　(年未詳)十二月廿五日　豐臣秀吉朱印狀……一　三一八
文二〇四　(文祿五年)二月廿五日　勸修寺晴豐書狀寫……一　二〇二
文三八五　(文祿五年)六月卅日　豐臣秀吉朱印狀……一　三三三
文三七六　(文祿五年?)八月十五日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二八
文三五八　(年未詳)正月廿日　豐臣秀吉朱印狀……一　三一八
文三八二　(年未詳)四月五日　豐臣秀吉朱印狀……一　三三一
文三六七　(年未詳)五月三日　豐臣秀吉朱印狀……一　三二三
文四二五　(年未詳)八月十五日　豐臣氏奉行連署添狀……一　三七二
文一七〇　(年未詳)正月晦日　浦就昌書狀……一　一七〇
證二七九　(年未詳)四月六日　三圓外一名連署狀寫……二　一五六
文二一五　(年　月　日未詳)　黃梅院某書狀……一　二一〇
文一六三　慶長五年十一月廿三日　椋梨景良知行書立……一　一六五
文一三四　慶長八年四月六日　毛利宗瑞元輝　加冠狀……一　一三〇
證四八四　慶長八年四月六日　毛利宗瑞元輝　加冠狀寫(本文省略)……二　三〇一
文一三〇　(年未詳)九月十七日　毛利宗瑞元輝　自筆書狀……一　一二八
文一四九　(年未詳)九月廿五日　毛利宗瑞元輝　書狀(斷簡)……一　一四〇
文一三三　(年未詳)十月廿五日　毛利宗瑞元輝　自筆書狀……一　一三〇
文一四六　(年未詳)五月六日　毛利秀元書狀……一　一三八
文一四七　(年未詳)七月十二日　毛利秀元書狀……一　一三八
文一四八　(慶長十一年七月廿七日　吉川廣家自筆書狀……一　一三九
文一三五　慶長十七年十二月七日　毛利秀就名乘名字狀……一　一三一
證四八五　慶長十七年十二月七日　毛利秀就名乘名字狀寫(本文省略)……二　三〇一
文一六四　(年未詳)正月廿八日　洞春寺玄徹自筆書狀……一　一六六
文一六五　(年未詳)正月廿七日　井原元以榎本元吉連署狀……一　一六六
文一六六　(年未詳)二月二日　佐世元嘉書狀……一　一六七
文一六七　(年未詳)五月廿一日　佐世元嘉書狀……一　一六八
文一六八　(元和五年)六月廿三日　榎本元吉書狀……一　一六八
文一六九　(年未詳)六月廿日　益田元和書狀……一　一六九
文一六二　(年未詳)十一月晦日　椋梨次郎左衞門尉請文案……一　一六三
吉一〇　(年未詳)十月十日　吉川如劵(廣家)書狀寫……二　五一〇

小早川一族署名并花押

目次畢

文三九二　(年未詳)五月廿一日　吉川如劵(廣家)自筆書狀……一　三四〇
文三九一　(年未詳)四月十六日　吉川如兼(廣家)自筆書狀……一　三四〇
證四八六　寬永十二年正月十一日　毛利秀就加冠狀寫……二　三〇二
文一三六　寬永十八年二月朔日　毛利秀就名乘名字狀……一　一三二
證四八七　寬永十八年二月朔日　毛利秀就名乘名字狀寫(本文省略)……二　三〇二
文一九九　(年未詳)九月廿三日　毛利就方外二名連署狀……一　一九八
文二〇〇　(年未詳)十月三日　毛利就方奉書……一　二〇〇
文一七四　(元祿十二年)閏九月廿一日　佐世廣久(廣長)書狀……一　一七五
文一七六　(年月日未詳)　椋梨景森口上覺控……一　一七八
文一七五　(年未詳)七月廿七日　椋梨滿平口上覺控……一　一七六
文一七三　寶曆六年閏十一月十五日　椋梨主殿口上覺控……一　一七四
系一　小早川家系圖……二　三九〇
系二　沼田小早川家系圖……二　四一〇
系三　竹原小早川家系圖……二　四八九